

昭和二十四年三月十九日 昭和廿四年四月二十日印刷 (毎月廿五日發行)
第三種郵便物認可 昭和廿四年四月廿五日發行

第三〇輯・第四號・昭和二十四年四月

建築(社會)

4

日本建築協會
THE ARCHITECTURAL ASSOCIATION OF JAPAN



スレート 海を渡る!



貿易品として 戦後に於ける處女航海

平和世界建設の晴れの大役を擔ふ



當社は日本最大の石綿鑛山
(北海道)の外セメント工
場(彦根)を持ち、石綿ス
レート原料の完全なる自家
生産を完成致して居ります。
當社各スレート工場に於て
は品質の改善に日夜専心し
向上を見て居ります。
何卒弊社のスレートを御試
用下さい。

野澤石綿セメント株式會社

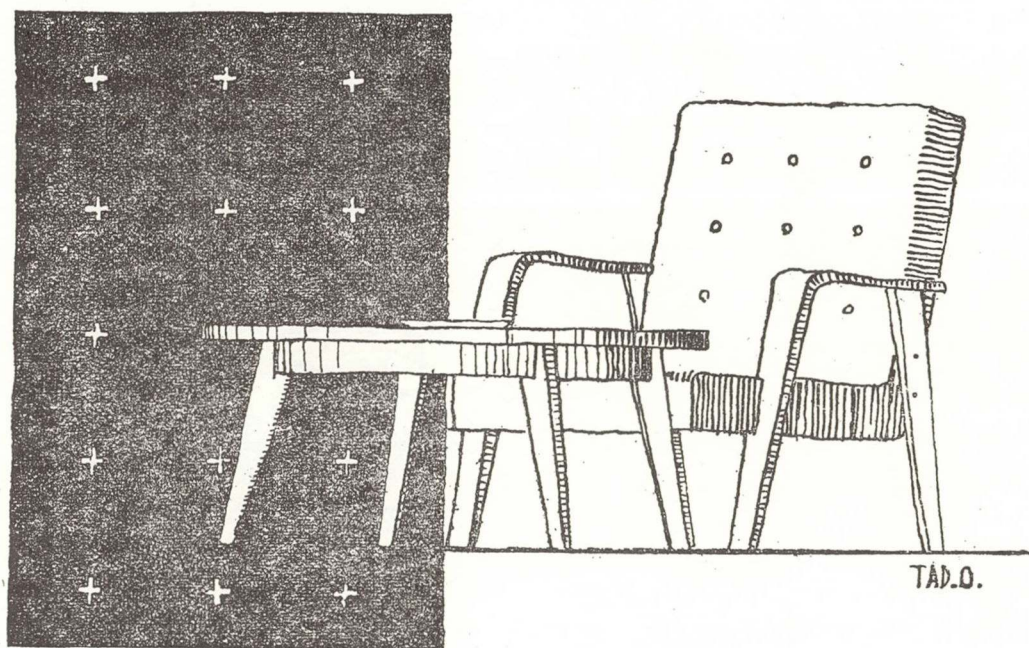
本社 神戸市生田區西町三六(興銀ビル)

出張所 { 東京都中央区銀座西五丁目三
札幌市南二條西三丁目
鑛山 北海道空知郡山部村山部
セメント工場 彦根市古澤町二七一

スレート工場 { 兵庫縣 武庫郡 本山村 田中
門司市 大久保二七一
彦根市 里根町一六ノ一
東京都 大田區 森ヶ崎町

アザワ

スレート



建築と社会

4

1949・4

主 張…………… 2

建築材料に関する座談会…………… 3

小 田 島 兵 吉	古 川 武 彦
大 西 幸 七	松 井 邦 彦
川 合 義 貫	村 田 經 政
小 松 四 郎	山 本 潔
志 垣 正 次	若 林 繁 吉
田 中 氏 三 郎	渡 邊 禎 己
日 垣 太 市 郎	

アスファルト防水工事のあり方… 大西幸七 ……19

厚型スレートに就て…………… 松井邦彦 ……22

文化石について……………中野順次郎…26

箱崎八幡宮の鳥居に就て…………… 薄 與 莊 ……27

クラブルーム

俗慮生活の感傷…………… 中野吉彌 ……29

全国郷土玩具の話(續) ……吉田安三郎…32

或る喫茶店の試案…………… 今西茂雄 ……34

山 口 便 り……………35

時 報 時 論……………36

會 務 報 告……………40

統一と規格の再認識

—工業規格、『セメント』瓦と厚型『スレート』とを契機として—

嘗て自由經濟時代というよりも商品の放漫濫賣時代には、わが建築材料界にも新に走り奇を競い、所謂百花燎亂の一時があつた。この窮極する處、バベルの塔の建立となつて、こちらが合えばあちらが合わない、結局進退極まつて反つて暗中摸索という状態になる。建材界となると他の部分との關連が必然するので、おのづから用途にも一定の枠があり、使う方法にも又一定の制約を受ける。この宿命から落ち付く處に落ち付いて來ると、やがて幾つかの類型種類が定まつてくる。こうした反省が兆して來ると第1期の規格時代の胎生となる。

それが國運を賭した大戰となると、その必至要請から急速生産が至上命令となるに及んでは、遂に規格が飛躍して、**統一即單一**、言ひ換えれば一つのもは一種類と、ギリギリの處まで追ひつめられる。言わば、馬鹿の一つ覚え式でやることになるのである。が然し、これではも早や規格ではない。時の必然だけなのである。即ち第2期？

時代は再轉回した。われわれは、生産を至上命令とすることには變りはないとしても、輸出が、貿易勘定が、われわれの死命を制するのであることを一刻も忘れてはならない。この狭い國土の最有効な利用方法は、國內を生産工場化することではなくてはならない。食糧も生活も總てこの基盤の上に立つ。そして、この上にこそ文化國家の確立はあるのである。

この見地から規格も再認識されなくてはならない。第3期の規格には常に海の彼方を念頭に置かなくてはならない。飛躍と進歩とは十分に取り入れなくてはならない。創意と工夫との自由を十分に尊重せられなくてはならない。生産地と使用せられる地とを十分考慮されなくてはならない。そして何よりも大切なのは、造る方に便利な規格でなくて使う方に親切で永持ちする精良品を期する規格でなくてはならない。……生産本位よりも、使用者本位に大轉變することである。つまり、粗製濫造の戦時用規格は、茲で斷然一擲されコペルニクス的 180度轉回しなくてはならない時機が來たのである。

以上の観点から、最近に知つた規格、例えば、『セメント』瓦や、厚型『スレート』の規格を考えると未だ戦時用統一、酷評すれば一つ覚え式の残滓が微かながら窺えるような氣がしないであらうか？止むを得ないものでない限り一種類に限定するのは窮策で顧客に忠實でないと思われる。殊に、建築は造型文化の尖端を行くものである。建築の創意工夫が材料で制約されることが多い憾があるのに、殊更人爲的に狹める理由はどこにあるだらうか。規格制定の根本としては少くとも次の4項を強調するものである。

1. 創意工夫を推進する規格でありたい（規格と一見背馳するように見えるが）、
2. 使用者本位に徹する規格でありたい、2を分説すれば、更に、
3. 使用者に撰擇の余地ある規格でありたい。即ち、少くとも2〜3種以上は欲しい。
4. 使用地を十分考えた規格でありたい。東京間と京間の差は元より、更に國內と國外との考慮も欲しい。

（以上の主旨は本會から工業技術廳へ建議したものである。） （K.Y）

……『セメント』瓦で5・6判、6・4判の、厚型『スレート』で36判、42判の問題で1方を主とし他を従とする案を見て、われわれは叙上の意味より2本並建を主張するのであるが更に廣く一般規格の在り方を、考えて見たのであつた。

建築材料に關する座談會

司會者 小田島 兵吉氏 (大林組本店 設計部長) 補助 渡邊 禎巳氏 (大阪市建 築課技師)

大西 幸七氏 (共榮瀝青 工業株式會社社長)

川合 義貫氏 (ベニヤ商會代表者)

小松 四郎氏 (コマツ建材社社長)

志垣 正次氏 (株式會社 明正社社長)

田中 民三郎氏 (東洋陶器株式會社 大阪營業所長)

日垣 太市郎氏 (株式會社 日垣本社社長)

古川 武彦氏 (朝日スレート 株式會社製造課長)

松井 邦彦氏 (やよひスレート 株式會社社長)

村田 經政氏 (株式會社 村田硝子店社長)

山本 潔氏 (山本窯業代表者)

若林 繁吉氏 (株式會社 二葉屋社長)

場所 …… 朝日ビル内 本會事務所

〔小田島〕御挨拶申し上げます。

これから建築材料についてお話を承るのでございますけれども、材料によつて建築物が非常に引きつ場合もあり、また材料の使い方が悪いために折角のデザインが死んでしまうというような場合が多いのでございますが、非常に材料の智識が必要でありながら建築家自身はあまりに詳しくない。これは材料を扱われる方々の熱心な説明、あるいは廣告と申しますか、そういうものがもう一つ足りないのではないかと思うのであります。私ずつと前にニューヨークに参りましたとき、サンプル・コーポレーションというのがありまして、そこに建築材料がいろいろと並べてありまして説明をしてくれる方が二、三人居るのであります。そしてこつちからの質問には説明をしてくれるし自分でわからないところはわざわざ電話をかけてその専門の人にきいてきて返事をしてくれる。またそこへゆくといつでもパイプ・オルガンの音がして非常に気分がよいのです。

その後日本にもいろいろの材料を陳列するところができしたが、女の子が一人か二人ぼんやりして

いるくらいであまり詳しい説明も得られない。パンフレットもあまり並んでいない、これでは折角陳列場をつくつても皆にわからせるという面では欠けていると思うのです。どしどし材料についての知識を何かの機会に、あるいは雑誌なり廣告なりにどんどん發表していただきたい建築家を大いに啓蒙と申しましょうか、よくわかるようにしていただきたいと思うのであります。

戦争中いろいろと資材の面で材料が非常に粗悪になり、種類も減つて居るのでございますが、最近はずこし回復してきているようでありますが、最近の材料の性質、あるいは生産高、あるいは値段といふようなものについてこれからお伺いしたいのですが、小松さん、どうでしょう、リノリウムは最近あまりたくさんできてないように思いますが、やはり不足して居りますか？

〔小松〕いの一歩ですか……そうですね、まあ戦時中の何分の一かはつくつて居るのですが、一般に出てこないのです。

〔小田島〕ゆき渡らない理由は？

〔小松〕軍用が多いのです。

〔小田島〕民間は禁止というわけですか？

〔小松〕いや、禁止じやありませんが、つまり向うからある数量の注文命令が出るわけです。それを出さなければ一般には廻らない、だから非常に窮屈です。

〔小田島〕そうすると月につくる数量が決つていわけですね、ワクがあるわけですね？

〔小松〕いや、そうじやありません。ある一定の数のものをはかしてしまうまでは出しにくいわけで、ところがそれを出すには原料が要るが、原料が手に入らないのでつくれないのです。

〔小田島〕原料が少いわけですね。新品の質はどうですか？

〔小松〕あまり自慢できませんね。

〔小田島〕それは困りますね。(笑聲)

〔小松〕大体同じようなものができて居ります。たとえばリノタイルをつくるにしても昔程いろいろと潤澤につくつて御注文に應ずるというわけにはゆかない、非常に種類が少いのですね、リノリウムでもこれまでは三ミリだけをつくつていました、茶色一色だけをね。

〔小田島〕糊なんかはたくさんあるわけですね？

〔小松〕糊も潤澤ではありません。アルコール松脂など他にいろいろと薬品を入れますけれども日本にないようなものもありますから潤澤というわけにはゆかず、第一非常に高いです。

〔小田島〕今後の見通しはどうですか、材料が入らないとわからないというわけですか？

〔小松〕そうですね。やはり一番難しいのは亜麻仁油です。

〔小田島〕最近では石炭が窮屈ですから従つてガラス、陶器なども製品が窮屈になると思いますが田中さん、如何ですか？

〔田中〕それでは私どもの近況を皆さんに御参考までに申し上げたいと思います。

幸い、私の工場は戦災を受けませんでしたので終戦後占領軍の衛生設備に要します衛生陶器の需要が大量にございまして、當時は質より量を間に合わせろという第八軍からの命令で、その関係上品質という点におきまして我々がみましても實に戦前に比較してよくなかつたという点は卒直に認めます。資材関係につきましては幸いに商工省方面の御援助によりまして只今までのところ支障はございません。○進も一應昨年あたりで大量の御注文もなくなつて、その後輸出の再開とともに、南方方面はじめ、アメリカあたりからも衛生陶器の注文を受け、現在は工場の約五十パーセントは輸出をやつていっているという状況であります。

今後この態勢は引續いて續くものと考えて居りますが、その爲に内地の復興用に對しましては昨年上期ぐらいまでは非常に御迷惑をかけました従つて品物も拂底しまして需要に應じきれないという状況であつたのでありますが、昨年の下期から工場の生産もウンと増しました。その間私どもではストをやり一時供給が非常に減りまして非常に需要家に御迷惑をかけたと思つて居りますが、現在では幸いに生産意欲も非常に増しまして増産

營業 日本浪型スレート・大平板
品目 日本厚型スレート・小平板

製造販賣 並ニ 工事請負

日本スレート株式会社大阪工場

東 本 社 東京都中央区銀座七丁目三番地
営 業 所 電話銀座(57)三二九七 五二九六番
京 工 場 東京都北区豊島七丁目一六番地
電 話 王子(81)三一五一 番
仙 営 業 所 仙臺市中田町恵土一番地
臺 工 場 電 話 中田 一五 番

大阪

營業所 大阪市西淀川区千船東二丁目二三番地
東工場 電話淀川(47) 0888・1869・1908番
西工場 大阪市西淀川区佃町二丁目一五四番地
電話 淀川(47) 1801・1082番

に勵んで居りますので実績も相當上つて居ります衛生陶器の全國の需要の相當量は私どもの製品によつて供給されているわけでありませう。いまの需要に對しまして供給は大体合つてゐる、非常に不足をきたすということには參つて居りません。

品質の方は○進が一應終了しまして、とくに輸出の面におきましては良い品物を作らなければ不適格になるという危険もありまして私どもでは技術陣を總動員して、最近では品質の点では戦前にほゞ劣らないものだという自信を漸く得ました。たゞ形狀、また難しいものになりますと製品の内部の機構で實はまだ完全に戦前に復活したというところまでいつて居りませんが、これも技術關係を總動員して戦前に劣らぬものをつくることに一同邁進して居ります。最近やはり進駐軍關係で浴槽などの注文もあり、又日本の方でも復興建築でホテルやアパートといったところに御用がございしますが、戦前のものより化粧技術と申しますか、非常に腰の強い生地、洗面所とか、普通の便器に使うものではなくしてウンと肉を厚くしたものが一番大ものに適當して居りますので、之等についてもほゞ完成の期に達して居ります。

こうした高級ものも完成近くすでに一部品物も出來て居ります。私ども衛生陶器をつくつてゐる者として最近非常に喜ばしい傾向は鐵筋アパートあるいはホテルなどで衛生設備というものに非常に重点をおかれまして、これは一つには進駐軍のサゼッションもあるわけでございしますが、その關係上、これに使われます材料としての衛生陶器というものも、追々良い品物が要請されているという現状でありますので、工場の方でもできるだけそれに應じた良い品物をできるだけ安く供給するようにということを目標にして進んでいるような現状であります。衛生陶器だけでなく、私の方で最近始めました衛生陶器の附屬器具、これも陶器にマッチしたものをつくる、そして衛生陶器と一体としての衛生器具をできるだけ需要家の皆さんに満足していただけるように現在相當良いものを

大量につくりましよう現在進んで居ります。今後の見通しとしては、やはり市場で要求されますものは私どもでも良い品物をつくつてゆくということは勿論必要であります、技術の点、あるいは資材の点でまだ十分御満足がいつてない点も多々ありますので、これからは私共も勉強することにして皆さんの御指導をいたゞいて進んでゆきたいという風に考えます。

〔小田島〕 衛生陶器の附屬品つてどういふものですか？

〔田中〕 洗面器具で申しますと、家庭水洗、排水金物、ブラケット、その他バス用器具といったような衛生陶器に直接くつつくもの、これを自家製品として陶器と一しよに賣り出すというので現在は殆んど輸出に向けて居りまして内地にはあまりお目にかける品物はございせんが、今後内地品にもどんどん振向けるといふ方針で進んで居ります。

〔小田島〕 形など昔と同じ様なものですか？

〔田中〕 形の点では戦時中化學製品の方に轉換して居りました關係上なかなか取もどすに容易ではありませんでしたが、たとえば化粧棚附の洗面器といったようなものは最近のアメリカあたりのカタログをとりよせてそれに似通つたものをつくり新型として賣り出して居ります。これはさきほゞお話のありましたようにすこし宣傳が足りません。やはりパンフレット、説明書をつけて陳列するといふようなことも考えなければなりません機會あるごとにそういった宣傳をして皆さんの認識を深めてゆくようにしなければならぬと思ひます。

〔小田島〕 ペニヤの方のことをお伺ひしますが、戦前には相當大きな六尺以上もあるようなものができて居りましたが、戦争直後には進駐軍の住宅などの扉などをみても六尺の上について七尺以上のドアをつくるという風にしてつぎ目がみえていますが、最近はまだ大分大きいものができてゐるようですが、ペニヤは難しいように思ひます

が……如何ですか？

〔川合〕 いまのサイズの問題ですが、これは現在全部輸出を目標にした寸法でありますので大概長さは八尺くらいまでのものをつくる設備をして居ります。これは輸出目標でありまして、内地向きにつくつてもいわば市場性と申しますか、回転率が非常に悪い有様で、そのために長いものはつくれるのではあるが、つくらないという状態でございます。それとよく似通つた問題は御承知の通りベニヤ板というものは、狂わない、破れないはなれないというこの三つがその生命なのですが一般の方はベニヤ板というと何か安物の代用品だというような考えをおもちになつている事がベニヤ板そのものを非常に墮落させているわけです。これはベニヤ板業が悪いのか、墮落させている需要者が悪いのか、一つこれは大いに考えていたゞきたいと思います。要はそういう墮落したものは買わないということになれば、きつき申上げましたように狂わない、破れない、はなれないものが日本にも立派にできるのです。現在は輸出して居りますが、アメリカのことをちよつと伝えきゝますと、あちらではボートの底板は全部ベニヤということになつて居ります。日本では戦争中にはベニヤ板でつくつた船ができ、ベニヤ板でつくつた飛行機が飛んだのですから、日本にもそれをつくるだけの技術もあるわけです。ところがそういうものをつくつていたのではどなたも買つて下さらないというところにベニヤ板の墮落する原因があるのですね。

さきに申されました寸法の点も昔は私どもの店では大概の寸法をそろえまして、どんな御注文にも大体即座に納めるという風にして居りましたが最近では金高がはりましてそういうものは市場性がない、ために回転率が悪い、工場でもそういうものをつくつていたのでは折角良いものをこしらえながら買手がない、だからつくらないというような現状であります。この点、ぜひ一つ将来は本當のベニヤ板の使命を果す上において、良いものでないと思われないというようなゆき方にしていたゞきたいものと私どもは希望するわけでありませう。いまから二十五年くらい前のベニヤ板は實に立派なものであつた、當時はお使いになる建築屋でもこれはどこの製品だという風に相當吟味してお使いになつたわけでありませう。

今でも時々笑い話にして居りますが、特殊な寸法の注文を受けて持つていつたところ、木目が悪いということでは不合格にされたことがあります。木目は人間がつくるわけでもありませんのに、その木目が悪いというので不合格になつた當時と今日のベニヤ板の需要家の考へ方、それはまるで天と地ほどの違いでございますね。もつとも墮落しました一番大きな原因は、いわゆる戦時規格というもので何でもよい、とに角、質より量という様な要求を主として軍から要求され、一般にもそれを及ぼしたわけでありませうが、これなどが最近の一番墮落した大きな原因だと思います。

終戦後買いにみえる方は質のことは問わない、とに角量をもとめられる。それがごく最近になり

疊・疊表・室内裝飾

昭和産業株式會社
船 木 由 松 商 店

大阪市北區老松町二丁目十八
電話堀川(85)二三五五番

まして私どもの店へベニヤを買いにみえる方は品物をみないで、まず値段をきいて、その値段が自分の氣にいらなかつたら品物をみない中につぎの店へゆくというような状態であります。やはり品物と値段と對等してみていたゞいて、良いものは値打ち相應に買つていたゞくという、せめてそのくらいのことをしていたゞかないと良心的な製品をこしらえる工場なり、販賣店は實に困る、自分で良いものをつくり、あるいは賣りながら自分で苦しまなければならないというような現状でありますので、ぜひ墮落した息子を墮落しないように一つかばつてやつていたゞきたいと思います。

それとベニヤを使用される方面、これは私どもは建築の設計ということには全然素人でわかりませんが、ごく最近の、たとえば地震というようなものに對してもベニヤ板を活用していたゞけば、耐震の家ができると私は思います。これは説明の仕方が悪いかも知れませんが、たとえば壁の代りにベニヤ板のすこし厚いものを柱と柱の間へはめて使つていたゞけば耐震の面からいつでも立派なものだと思います。また、耐火という面からいつでも——これは私の戦争中からのほんの思ひつきですが——壁の面の兩側へたとえ二分厚ぐらいのベニヤ板を張つて中へ川砂を入れるという風にすれば効果があると思います。できれば二階と下のしきりもそういつた構造で砂を入れる。御承知のように火というものは熱と酸素によつて火が發するのですが、砂そのものが相當熱に耐える力をもつため耐火力があるとともに、もしその一部分に穴があいたら、火が燃えている眞上がこげるわけですから、そこへ穴があいたら砂がジャーツとおちてきて押えてしまうのじやないかと思ひます。(笑聲)

そういう意味で耐火構造にもゆけるのじやないかという風に素人考えですが、果してその通りになるかどうかは解りませんが、そういう意味でよいのじやないか。……まあこれは冗談ですが、ぜひ良いものをつくつていただくことによつて日本

のベニヤ板がせめて二十五年前の程度のベニヤ板にたち直るよう使用していただきたいという風に考えます。

〔小田島〕 ベニヤ板は水に非常に弱い様ですが、これについてとくに御考慮を拂つておられないのでしょうか？

〔川合〕 いや、水に強いものもできますが、そうしますといまの値段より高いものになる、そうすると買つて下さらないということになるのです。

〔小田島〕 糊の具合ですか？

〔川合〕 主として糊ですが、同じ糊でも生産法によつて膠着力の相違ができます。絶対に耐水力のあるというものもできるのですが、そうすると高くなるのですね。

〔小田島〕 どのくらい高いのですか？

〔川合〕 まあ今の墮落したベニヤ板の價格から申しますと、少くとも三倍ないし五倍はかかるでしょうね。そうすると使つて下さらなくなるのです。

〔小田島〕 そうですか、そうなると思ひますね。(笑聲)

〔川合〕 現在私どもでいま工場からいつてきている製品が市場のものより約三割ほど値段が高いというだけで良いものでありながら賣れないのです。ですからできれば品物を値段で判斷せずにその品物をみて買つていただくように、ぜひとも質の点を吟味していただくようにすることが、私どもの墮落を救つていただくことになるのだと思います。といつてあまりわけのわからない無理をいわれでも困りますが、そういうことのない程度に一つぜひとも品質を吟味して買つていただくことにしていただければ、自然我々の方のものは良くなると思ひます。悪いものはつくれない、またつくらせないから逆に良いものをつくらなければ賣れないということになると思ひます。

〔小田島〕 厚さですね、三分とか、四分とか厚さの不同が相當あるように思ひますが、一枚の

板で二枚つぎ合せてはる場合、どうしても一ミリか、二ミリの狂いがでて結局押縁をしなければならぬような結果になる事が多いのですかね。

〔川合〕 それは乾燥施設が悪いのです。生産工場にもピンからキリまでございまして相当立派な施設をもっている工場もあるかと思うと、これがベニヤ板の工場かと思われるような工場もあり例の丸公というもののためにごんなものをつくつても値段が一しよだという時代が今日まで続いているわけでありまして、自然そこに良心的な製品をつくるということに手ぬかりがあるわけです。そこで少くとも工場施設のよしあしがわからないと良い物ができる、できないの判断はつかない。

最近ベニヤ板の販賣業者は戦前の約十倍ぐらいになっており、その中で本當のベニヤ板の生産過程を知つて品物を扱っているという人は指折り数えるほどしかないのじやないかと思ひます。ベニヤ板賣っている人自体が、ベニヤ板が先刻おつしやつたように狂いのあつた場合、なぜ狂いが起つているかという原因を知らない人が多い、いまのお話は乾燥施設が悪いのです。ベニヤ板の生命は乾燥が最も大事で、これが悪いと狂わないはずのベニヤ板が狂うわけです。乾燥施設がよかつたらそういうことは絶対にないはずですよ。

〔小田島〕 ベニヤ板の原木は相當あるのですか？

〔川合〕 原木はありません。只今チークを使つて居りますものはありません。主として化粧板という程度のものでありまして、大きな寸法のも

のはつくつていないはずですよ。化粧板程度のものは何を使つているかと申しますと、解体船の古材ですね、あれを使つているというような程度でありまして、まだ輸入して居りませんので材料はないわけです。

〔渡邊〕 この間すこし入つてきたのじやありませんか？

〔川合〕 シヤムから米、木材を出すということとはきいて居りますので、いつかは入ると思ひますが、まだチークの入つたということはきいて居りませんね。米もまだですから、米からまず先きに入つて、それから木材が入つてくるのじやないかと思ひます。

〔渡邊〕 このごろのベニヤ板は水が禁物だというのが常識みたいですが、そういう良いものができるのだということをもう一つ皆によく理解せられていないのじやないかと思ひますね。需要性の非常に少いことは確かですよ。

〔川合〕 まあ墮落した原因は戦時規格も一つですけれども、いわば丸公によつてどれも同じだという制度も悪かつたのですね。それに生産者ならされて良いものをつくつても同じ値段だつたらつまらないというので、そこに墮落の原因があるわけですよ。

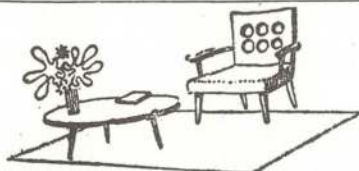
〔小田島〕 戦時中はいろいろと金物の使用制限をくらつて代用品とか何とかがたくさん出て居りましたけれども、最近金物が相當豊富に出てきたようでございますが、然しまだ真鍮程度ですが、高級金物はどうでしょうか？日垣さん――。



高島屋裝飾部

大阪市南區難波新地六番丁
電話 南 (75) 1513-1518

家具、窓掛、敷物、電灯器具
室内裝飾設計施工
車輛内部裝備設計施工
船舶内部裝飾造作設計施工
店舗、住宅改造、造作設計施工



支店出張所 名古屋・廣島・丸亀・高知・別府・熊本・福岡

〔日垣〕 高級なものもできますが、大体建築金物が昔日本の金物でしたけれども、明治二十六年以後から西洋風の建築金物が大分入ってきました、それからだんだんと日本でもアメリカの品物をまねてつくるようになり、それが第一次歐洲戦争のときには日本の品物を世界市場に出したほどであります。戦後これが復興してきました民需が殺到してきたわけですが、その後進駐軍の建築用金物の注文が大分ありまして、現在ではどちらかと申しますと生産過剰になりつつあります。品質もあまり上等とはいえませんが、いまの建築には匹敵する金物ができているわけであります。製造規模も、いままでの関係から大体内地の需要を目的につくつていないわけでありまして、中華民国だとか、蘭印、南洋方面、印度、アフリカに輸出しましたので、その規模で造つて居りますので、輸出ができなかつたら生産過剰になるわけであります。ところが最近印度の方から大分注文がありましたし、相当量が輸出の方へいつて居ります。

〔小田島〕 どういう種類のものですか？

〔日垣〕 やはり錠前、蝶つがい、その他建築に使う金物ですわ。

〔小田島〕 建具金物ですね？

〔日垣〕 そうです。

〔小田島〕 難しい錠前はやはりできますか？
エール・コルビンというような會社のやつていたようなものは――。

〔日垣〕 戦前はあれに近いものはできて居りましたが、戦後はまだできないのです。それにはいろいろの関係がございまして、まず材料関係から良い材料ができてこないことと、本當に五十年百年も建築が古くなつても建築金物がちつとも狂いが生じないというようなものができるまでにはやはり材料の良いものができるということによつて、初めてそこに良い加工をして良いものができるわけであります。

〔小田島〕 お伺いしたいのですが、フロアピン

ヂ扉は何度ぐらい迄開けるのですか？

〔日垣〕 九十度ですね。

〔小田島〕 それ以上あげたらどうでしょう
か？

〔日垣〕 百八十度はできませんね、その必要はないでしょう。

〔小田島〕 いや、そういうところがあるので
すがね（笑聲）入口を開いて廊下がせまいもので
すから全部開かないといけないという場合がある
のですね。

〔日垣〕 それは特殊な用途ですね。アメリカ
ではそういう特殊な用途に對して品物をつくつて
ないわけで、ちようどいまのお話の例でアメリカ
の人は研究してこれが一番必要なものだという限
度までのものをつくりまして、特殊なものの用途
に對しては使う方で工夫する。せまいからどうと
いうのは、廣くしたらよいわけです。（笑聲）

〔小田島〕 まあそういうことになるでしょう
が、それがなかなかそうはゆかない……。

〔日垣〕 しかしそういうのはアメリカでした
ら船舶とかというようなものを考えます。恐らく
地上の建築で狭いから百八十度が必要だというよ
うなことは起り得ない譯です。

〔小田島〕 金物のデザイン、これは出来合い
でなく、こちらが注文したらその通りなるような
ものになつて居るのですか？

〔日垣〕 それは日本の欠点でありまして、ア
メリカの方ではデザインを一つ増やすということ
はなかなか容易なことではないのです。よほど良
い設計者が何十年使つて非常によいデザインだと
いうものしかつかないのです。

〔小田島〕 レデーメードというわけですね。

〔日垣〕 そうです。それを使つて非常に良い
デザインがあるわけで、むしろ思いつきの設計者
のデザインは悪い結果を生むということになりま
すので、日本でもアメリカとちようど同じような
進め方で進んで居ります。

〔小田島〕 スレートの方にお伺いいたします

戦争中スレートは波形でも厚型でも非常に品質が落ちて、屋根をふき、あるいは壁に張る前に、実際に工場から運んで建築にとりかかるまでに半分以上は破れてなくなるという状態が多かったのですが、最近はそのようなことはないと思いますが、如何ですか？

〔松井〕 大体私の方は厚型スレート専門工場でございますが波形関係は扱って居りません。現在石綿スレートと厚型、セメント瓦の三種がありますが、セメント瓦の方はいわゆる労務状況で戦時中は非常に逼迫し、石綿スレートはアスベストが重要な軍需資材でありましたのでその方へとられるために、これに代るべきものがないというようなことで非常に無理してつくつたので破損率が多かった。幸い、厚型はその点においてはアスベストはごく少量で砂とセメントで九十八パーセントまで使つて居りますので影響はないということで第一にとりあげられたのが軍需資材として指定されて一般には賣出すことができなかった。

近畿における生産状況は戦前は四工場で機械が約十三台ばかりしかなかったのが、終戦後非常に増えまして現在十四工場で約四十五台、現在の生産高は月産二萬坪程度を上下して居りますが、能力としては約三萬六千坪位いの能力であります。

昨年進駐軍関係が不要になつて一般に切換えるときにはちよつと生産過剰になりましたが、最近セメント瓦、石綿スレートなどが原料、労力の關

係で製品が面白くないというような欠陥が一般に認識され、その関係から非常に厚形スレートの需要が多くなつて、現在石綿スレートを製造しているものも轉向すべく設備をしているような状況でございますので、生産はますます増えるかと思ひます。ここで問題になりますのは、たくさん業者ができますと、従つて競争が激しくなり粗製濫造に傾きやすいというようなことで、昨今私の方でも工業會というものをこしらへましていろいろと技術の指導、規格の統一というようなことを行つて品質の向上をはかつて居ります。一般の御認識下さる原形スレートというものと、製品の向上と兩々相まつてますます今後その方面の需要の多くなることと思ひます。

先般工業技術廳からわざわざ關西の業者、並びに學者の御意見をききたいということで堂ビルで會合いたしまして、大体向うの原案にいくぶん修正を加えました程度のもので關西の意見も入れまして、大体三十六枚板が規格になつて居りますが、それに準じた四十二枚板も必要であり、比較的戦後の住宅面には大きな面積の屋根が少いので、三十六枚板ばかりでは体裁も面白くないから、二本建にしたらというのが關西の意見でしたが、それも入れられまして、最近の機關新聞に規格が本決りになつたようなことが載つて居りました。

〔小田島〕 スレートの形ですが、溝など色々と思ひますがあれは各メーカー全部同じ恰好ですか？

〔松井〕 戦時中は全部統合しまして、約二十種類ぐらいの色々な形がございまして、特許だとか登録だとかありましたものを軍需省で規格統一しまして三十六枚板の形に一定したのであります

〔小田島〕 そうでないと二、三枚破れたとき變つたスレートがゆくことになりますからね。防水は大丈夫ですか？

〔松井〕 スレートは凡て高壓プレスで三千ポンド、乃至五千ポンドの壓力を加えますのでごく



木毛セメント板

(耐火建築指定品)

旭化工板製造株式會社

營業所 大阪市北區小深町一番地

電話福島④一〇五番

工場 尼崎市下坂部 久々知前

緻密になりますから、吸水量が百分の八以内ですみ、水という問題に就ては御心配ございません。

〔小田島〕 最近やつた例で雨がもつて困つたというようなことがありますが、そういうのは製品が悪いのですかね？

〔松井〕 それは石綿でしょうね。ただ新しい工場の中には技術の面で非常に疑問のある工場もありまして、これもさきほどお話のありましたように丸公といつしようなもののあるためにどうも粗製濫造が多くて困ります。

〔小田島〕 セメントなどは十分に入りますか？

〔松井〕 これはますます窮屈になります。現在近畿地区で約三萬六千坪の生産に對するセメントの配給量は約六百トンですから、五千坪ぐらいしか配給がありません。

〔小田島〕 あとはどうするのですか？

〔松井〕 結局あとは代用セメントといつしようなもので補っているわけです。

〔小田島〕 最近愛知縣のタタキ土と申しますか、ああいう物で造っている所もあるそうですね。

〔松井〕 それにつきまして今度私どもでラスメント瓦というのをつくつて居ります。これは全然セメントを使わずに鐵粉だけでつくり上げる、見本も本日ここにもつて参りましたので、あとで御覽下さいませよう……。

〔渡邊〕 あれは生産はどうですか？、大分出て居りますか？

〔松井〕 まだなかなか生産は上らないのですが、月二千坪ということになつて居ります。

〔小田島〕 朝日スレートはどうですか？

〔古川〕 私の方は波形スレートをやつて居りますが、對戰中、あるいは戦後にかけて材料がないために、いま松井さんからもお話のありましたように戦時中は石綿など殆んど入手できない、できても非常に低級なものでしたので、輸送中に破損したりするようなことも相當あつたらしいのでありますが、戦後になりますと、軍の隠匿物資が

相當出廻りまして石綿の方は樂になりましたが、セメントが窮屈でありましたが、まあセメントも配給が最近だんだんと増えて参りまして、相當良い製品ができて居ります。石綿の方は我々の會社の解体船に使用した材を再生してやるという風にして現在相當良いものがあります。

現在の波形規格は強度で百キロということになつて居りますが、大体百十キロぐらいを目標にして居りますが、結局値段の問題がありますので、現在の生産コストが殆んど丸公では儲けにならないというようなことで値段の引き合うものをというところまでつくつて居ります。生産數量も現在全國で月産十六、七萬坪ぐらいできているのじやないかと思ひます。波形にして五十萬枚ぐらいですね。現在の品物でしたら十分使用に耐えると思つています。

〔小田島〕 山本さんに今度はタイルのことをお伺いしますが、これも結局石炭に依存するところが非常に多いのですが、その出る數量と申しましようか、戦争直後よりは増えて居りますか、戦前に比して如何ですか？

〔山本〕 そうですね。戦前のところまではいつていないと思ひます。但し輸出の方は相當馬力をかけてやつて居りますから各工場とも非常な希望をもつてやつて居ります。終戦後の進駐軍の需要は眞に意外でした。戦争に敗けて焼野原になつ

良心的な
アスハルト防水工事
全耐酸モルタル工事
責任施工

大阪市北区天神橋筋二丁目一
市電鳴尾町下車

富士印
優秀安價
ターフエルト

天神、人形橋の
正直な店
丸藤

ですぐにタイルが要るというようなことはあまりに考えていなかったことで、現在もそういう氣持が業界全体に漲つて居ると思います。幸い他の商品もあるいはそうかも知れませんがタイルの輸出などの場合、最近他のところはいろいろ制限がありますが、印度貿易はある程度の低いものまでどんどんともつていつてしまうので、この間も私きいて驚いたのですが、普通の硬質タイルのかけたものをカマスに入れてもつていつたそうです。

今我々内地の皆さんにお願いしている五寸角のもので十二圓、最近メーカーから値上げを要求せられて居りますので十五、六圓にも最終販賣價格になるかも知れませんが、それでも賣れ難い、元來どの商品でもそうですが、ことにタイルはガラス、セメント、金物などよりもとくに遠慮と申しますか、値段は成可く御豫算に合う様に、又少しでも多く使つていただくという風に製造家はじめ販賣業者も心がけて居つたのでありますが、戦後におきましてはいろいろとやりにくいので値段が高いのじやないかといわれますが。そういわれると實際高いので實に困つて居るのでありますが、工場の經營の面から申しますと、この位頂かないとやれないと、いいつつ現在でも値段を遠慮してみな申して居りますが、はからすもいま申しましたように、印度貿易が始まりましてカマス入りのかけタイルを要求されてしまつてまともな四角いものを出すよりその方が値段がよいというわけです。

實際はもう破つてしまつてカマスに入れて印度

に出した方がよい、世話もなくてよいのだが、それでは内地の復興に對してメーカーとして良心的に苦しいので出して居るということをききました。が、このことが數字的にどの程度まで本當に、そういうことがあつたのか、また事實があるとしても本當に一部の事實で果してそういうことになり得るかということがいえるかどうか疑問でございますけれど、まあそういう話があるようなわけでありまして、どうも終戦後は我々が昔設計者の方から、あるいは請負者の方々からタイル、タイルということで御用をきいてきたような心持ではいけないような事情になつてゐるのじやないか。製造の面でも價格が高い、すなわち石炭が高い、あるいは電力事情が悪い、また税金のことをいうと悪いかも知れませんが、物品税がタイルにも少數のものを除いてみなかかつてくる。そこで何とか安く面白いものを見出してこい、それを使おうじやないかということで、私どもも設計者の方に喜んでいただける立派なものをつつただけ經濟的に、又良いものをローカルを活かしてつきたらというような一應しほらしい考えをもつてみたのですが、たとえば耐火煉瓦のようなものでもよい、赤煉瓦のようなものでもよいから相當大量に、終戦後の日本文化のために相當満足すべき性質のものであるならということでした。結局タイルということである以上、物品税がくつつくというような事實にぶつかりまして、こういう考えは間違つてゐる、むしろそんなに安くできるものではないということを關係者が知りましてその方にもその話をしましたところ、なるほどというようなことでそれは全然放棄してしまつたのであります。どうも私非常に残念に思いますのは、貨幣價值というものが十分頭に入つていないせいかも知れませんが、非常に高くして申しわけない、しかも先刻も申上げました通り、輸出の方が、當然まあそうあつてほしいわけでありまして、まことに活況を呈しており、その輸出の傾向によつて内地の需要が左右されて、都合によると三寸六分の

建材部

テフク ス
フロード グ
リグノイド 床
氣光式通風器

電工一式
氣事式

田邊工業有限會社

代表者 高 橋 進

大阪市西區江戸堀上通一丁目五番地

電話土佐堀 ④ 3 4 2 5 番

ものは姿を消すかも知れない。これまでは五寸角は拂底する場合があつても、三寸六分はいつも豊富であつた。値段も高い、使われる量も少いというので安心して居りましたが、最近是三寸六分というものが輸出から消えまして全部五寸角になるかも知れませんが、従つて三寸六分のものの生産をやめる。全部がそうではないかも知れませんが一、二の大手筋がそういうことになるためにそれに準じてやるということになり品種も、値段も輸出によつて左右されるということになる。それに今度御承知のように爲替の新しい制度が決りまして、こうなると輸出の方の経営面における関係が變つてきますので、どうしても内地の方のものをこれまでのようにカバーすることができないというような状況にあるらしいのでございます。ところが、内地用のものは御承知のようにそう活發ではありませんので、この間どういう風に落着くのか全く混沌としているということを申し上げたいとさきほづから考えて居ります。

これを概括的に申しますと、幸いにしてだんだんと復興して参りまして、どんなタイルでも御注文に依て造ることができ、又つくろうとしている意欲が相當はつきりしてきました。又、先程もどなたかがおつしやいましたが、焼けただれた状態をみますとタイルという様なものは非常に影が薄い反面、此頃焼ビルの改装、殊に輸出方面のものをつくる生産工場の整備が案外に力強く實施されつゝあり、そこへもつてきてアメリカ流とでも申しましうか、非常に衛生施設が高度に要求され、例えば便所にタイルを使うにしても、いままで三尺か、二尺五寸積んでいたものを天井まで使うというような傾向がございまして、値段も高くならねばならぬような面もあり、また安くならねばならぬ面もあり、悪い意味でなくそういう風に混沌として居ります。併しだんだん本格的な需要に接近しつつあるような氣がしますのでちよつと思ひついただけを申し上げます。

〔小田島〕 色などはどんな色でも全部自由に

できますか？

〔山本〕 そうですね。どんな色でもということまでは参りません。大体タイルというものの需要は専門家の方の需要を對象として今日まで成長してきたのであります。しかし戦後は専門家の需要より一般の素人の方の需要というものに非常に支配されてきました。第一、色にしてもむしろ原色に近いような、普通専門家なら見向きもしないような、我々も持つてゆけないようなものがどんどん賣れている。皆さん街を歩いてみておわかりでしょうが、大概一寸八分の俗つばいものが案外大量に使われているというような状態でありまして、まあだんだんとどんな色でも、どんな形でもできるようなところに近寄りつつあるという返事はできます。

〔小田島〕 實は最近神戸のあるホテルに蕎麦家のK氏がホール壁に模様を書かれまして、それをラスモザイクでやつて居りましたが、これからはやはり壁面にはだんだんと増えるのじやないかと思ひますので、勝手な色が出るようでしたらこの利用も多いと思ひますね。

〔山本〕 私感じますことは、焼跡であるが故に、敗戦國土であるが故に、斯様な焼ものによる色彩を表現するところのタイルが斯様に要求されるのかと實は驚いている譯でございします。併し實際もうすこし安くできませんとね……。材料が高いばかりでなく、手間賃も高い、又物品税の関係もありましようが、一つできるだけ近い機會にタイル業者なり、建築有力者の力によつてもうすこし安くできる様にならないと困ると思ひますね。硝子とか、セメント、その他の必要欠くべからざる材料ならば、そういうこともあまり痛切には思ひませんが、極端に申しますと、あつてもなくてもよいという様なこともいえるものでございしますので、もうすこし安くならないと困ります。

〔小田島〕 タイルに関連して同じ石炭を使う硝子製品についてお伺ひしたいのですが、硝子は最近非常に窮屈でございしますね。實物みたいに扱

つて居りますけれども、非常に小さいものが多いようですが、戦争前みたいに大きなプレートガラスのようなものは手に入りにくいのでしょうか？

〔村田〕 プレート、ガラスはある事情で製造を中止しているのです。またそんなものを使うこともぜいたくですものね…（笑聲）つくればいくらでもつくれるわけですが、一應製造中止をして居ります關係上一般に廻らないのです。

〔小田島〕 一番大きいのはどの位いですか？

〔村田〕 現在規格で一番最大のものは四尺六尺でございます。それ以上のものもつくれるわけですが、大体規格を最小限度にとめられて居ります。盤としては大きなものもできますが大体幅が五尺、長さ約五十尺くらいのものが連続して出て居りますが、これを適当な寸法に切つてしまうわけです。厚みは最大六ミリ、それから五ミリ、三ミリ、一般に使つて居ります二ミリ、これだけの種類より出て居りません。

戦前に比較しますと最近生産能率が非常に上つて居りますが、生産の目標を戦前の最高能力の四十五パーセントということにして居ります。最近の月産が旭、日本兩社で約十五萬箱、その三割程度は輸出に振向けられて居ります。残りのものを國內の進駐軍、その他へ割當てられているような恰好でございまして、一般住宅用としては一坪に對して十二・五平方尺の割當を設けられているわけでありまして、普通建築に對しては實際必要量の約七割程度でございまして、それ以外のは結局ヤミでやつているというような恰好であります。

製品の種類も現在やつて居りますのは、五ミリ透光と、六ミリ、三ミリ、二ミリ、學校専用の銀線ガラス、それ以外は一般需要の三ミリ以上は全部寸法は四尺、六尺で、二ミリの寸法は二尺三尺迄となつておりまして、それ以外のは全然今日ではやつて居りません。

〔小田島〕 昔はカタガラスとかいろいろありましたかね……

〔村田〕 最近やつて居りますのは梨地板、斜子板、ダイヤ板の三種類でそれ以外はやつて居りません。

〔小田島〕 色ガラスはできないのですか？

〔村田〕 これは現在やつて居りません。つくつてはいけないというわけではないのですが、大体需要の方も現在はあまりない。鐵道その他の信號用に特殊な方法で多少やつて居りますけれども一般メーカーとしてはやつて居りません。

〔小田島〕 これから教會などができて必要になるのじやありませんか？ ステインドガラスなど……。

〔村田〕 これは戦前の輸入品で焼け残りがいくらかございますので、そういうものを現在利用して居ります。

〔渡邊〕 アミイリガラスは？

〔村田〕 これも現在はやつて居りません。進駐軍其他特定部門の注文の場合にはつくつております。特殊なものは進駐軍の注文以外にはつくらないことにして居ります。

〔渡邊〕 乳白色のものなどは？

〔村田〕 これもいまのところ町工場でやつて居ります關係上、サイズの小さいものしかできない。寸法一尺五寸角くらいのものでしょうね。それ以上のものは現在できません。

〔渡邊〕 ガラスの原材料の方は？

〔村田〕 原料は相當量ございますし、製品も相當量できるわけですが、結局ある一定のワクを設けまして必要先に對して券を發行して居りますが、この券が手に入らないために結局一般大衆には廻らないという恰好でございまして。大体製品としては相當にあるが、券が入手できないために品物が手に入らないという矛盾した状態でございまして。

〔渡邊〕 そうすると發券量と、生産量の關係がとれていないわけではございませぬ？

〔村田〕 大体本省ですべて割當をやつて居りますので、順調に券を發行してくれば生産高と

バランスがとれるのですが。製品ばかり先に進んでゆくという恰好で、券が順調に出てこないために品物があつても手に入れることができないというような恰好でございます。

〔小田島〕 大西さん、防水のことをお伺いしたいのですが——。建築設計をやるものは名前を知つて居りますけれども、防水というものがセメント防水にしてもどういふもので出来ているかということを全然知らない。ただ防水といつて居りますが、セメント防水にも何十種類がある譯ですね？

〔大西〕 私のやつて居りますのはアスファルトの防水でございまして、防水工事については経験深い志垣さんも此の席に居られますので、私から申上ることは僭越でございますが御指命により御答へ申します。

私、本日は技術部門、請負部門の方々に御願ひし度い知つて戴き度い事を先ず申し上げたいと思ひます。それは現在の防水業界の材料のことです。皆様御承知の通り戦前にはルーフキングにも $\frac{1}{2}$ より、3號フェルトは1號—4號と他にコツトン・ヘツシヤン、麻糸、銅線等のメツシュ（網状ルーフキング）と色々ありましたが、戦時中ルーフキングは22疋、フェルトは20疋と統制され現在も此の規格で生産されて居り、網状ルーフキングは資材の関係上姿を見せません。然るに時たま之等の網状品を指示されるを見る事があります。（假に現品が只今あつてもそれは戦前の製品でありますから、外觀は異状なく共相當風化して居ると思はねばなりません）之は資材の豊になる迄御見合せを願はぬと、請負者は勿論吾等施工業者も見積に困るのであります。

次にアスファルトでございますが、只今の處ストレートは0—10 10—30 40—60 60—100、ブローン 0—5 5—10 10—20 20—30 30—40と規格されて居りますが、一般にブローンが上等品でストレートは下級品だと考えられて居る様でございますが、アスファルト本来の性能を具備するの

はストレートであります。伸張度、膠着力、展延性、防水性、磨減度等はブローンに勝つて居りますが、熱に對する感度がブローンより鋭敏である事が欠点でありますが決して下級品でない事を認識願ひ度と思ふのであります。

現在の生産状態からブローンは非常に少なく、殆どストレートの配給でありまして、併も希望する針の度品を必ず配給されると言ふ譯でありません。端的に申せば俗に言ふ『おあてがい』の状態でありますから、針入度何度品をと強請されますと只今の處、其の希望に添えぬことが多いかと思ひます。又生産工場も日石の外數社あり何處の製品が配給されるかわからぬのであります。

四月一日から配給公團は廢止され、各生産工場に所屬する配給所で現物化することになりますので、割當をもらつた場合は自分の好い生産工場の品を良い品をと選擇する事が出来ると思ひます。

〔小田島〕 アスファルトが熱に鋭敏であるということが建築では困つて居ります。屋上に防水をしましても、上にモルタル、またはタイルをはずしてもそれが流れましてトユを防ぐという場合が往々にしてございますが、そういうことに對しての御研究はございませんか？

〔大西〕 それはアスファルトの使用量にもよりますが、要は施工者が針の度、即ち硬さの選擇を誤つて使用した結果で、例えば屋根の場合10—20か20—30を使用すべきに、40—50を使用した爲に流れ出るものと思ひます。

吾々工事業者としては施工場所に適合する硬度の品を選び責任ある施工をするのが常識であります。現在の配給機構下乏しい規格の中でも此の念を忘れるものではありません。たまたま何でもよい貼つておけと夏が來ればアスファルトが流れ、立上りは倒れるのもおかまいなしと言ふ無責任な施工者が無いとは言えません。之等は自らの首を締めるものと言わねばなりません。要は施工者を吟味して責任ある施工をさせることを希望します。

〔小田島〕 普通の屋根はちよつと勾配がつくとすぐ流れる傾向が多くなるようですが、この限度はないものでしょうか？

〔大西〕 アスファルトの良質なると硬さの選擇を得ば相當急勾配でも大丈夫であります。此例は外國品使用の場合ですが、施工は大正の末期であつたと思ひますが中之島中央電信局の屋上西側に急勾配の丸屋根があります。現在でも異常はない様ですし、又大阪書籍津守工場の屋根は鉛屋根で相當勾配あり且つ防水露出でありましたが、アスファルトの流れて困つたと言ふ事はきゝません。國產品では急勾配の施工經驗を持ちませんので確實な事は申上られませんが、硬度を吟味してやれば普通日本屋根の勾配位ひは大丈夫かと思ひます。

序に申しますが防水層の上に往々アスファルトモルタルを塗装される向がありますが、理屈的には防水層とアスファルトモルタルが一体となり誠に結構ですが、アスファルトモルタルは必ず毀裂を生じますので、其の際に一体になつてゐるかなしき、防水層も毀裂して雨漏りの原因をかもしますから、防水層に直接アスファルト舗装は避けねばなりません。古い話ですが、神戸市の小學校の屋上に之の方法を採られましたが、結果以上述べた通りになつた例もあります。

〔小田島〕 地下室の防水の壽命はどのくらいでございますか？

〔大西〕 私の經驗は過去30年で半分は外國品を扱ひましたので、何年位ひの壽命かと言はれますと30年以上は何とも申されませんが永久的壽命があると自信して居ります。防水層の故障は今日迄自分の修理した經路を見ますに大部分保護層の毀裂スラブの毀裂バラベットの龜裂等が原因して居り、防水層自体の腐蝕に原因して居る事はありません。國產品では私の知る古いものでは大阪鐵道局廳舎、たしか昭和二、三年頃の建設であつたと思ひますが、地下室、屋根防水はルーピング・フェルト・アスファルト共國產でありましたが今以て故障の噂をききません。

〔小田島〕 最近天然スレートがだいぶ出廻つて來たようですが、一つ天然スレートに就て志垣さんどうぞ。

〔志垣〕 終戦後宮城縣の登米地方產出のものが此關西方面へも出廻つて來まして値段も安いといふので歡迎され、最近ではスレートの本場である宮城縣の雄勝地方で本格的に採掘するようになりましたので、昔ながらの純黑色尺二寸×六寸もの以下定尺ものがざんざん出廻つて參りました。

御承知の如く天然スレートは主として洋風建築に用ひられ、東京驛などは其代表的なものだつたのですが、洋風建築も次第に鐵筋建築となり勢ひフラツトルーフになつた關係から、天然スレートも一時影をひそめて居たのでありますが、終戦後木造建築が多くなるに連れ、必然的に天然スレートが再び世に出た譯であります。

現在の屋根材の殆んどが其製産に多くの燃料を必要としますが、天然スレートは豊富な天然資源で人手さへあればいくらでも製出できるのであります。従つて燃料不足や人的過剰に悩む我國に於ては、こうした資材を大いに利用して頂きたいのであります。私も此仕事が最も有意義な仕事だと思ひまして、本業のアスファルト工事の傍ら此天然スレートの事業にも積極的に乗出して居るような次第であります。目下兵庫縣廳の廳舎復舊工事の屋根に此天然スレートを葺いて居りますから、お通りがかりに御覽いただきたいと存じます。

〔小田島〕 價格はどんなものですか？

〔志垣〕 建物の大小や工事の難易等により一概に申上られませんが、俗に三枚重ねといつて居る一文字葺で一坪千五百圓前後、網目型葺だと千三百圓前後で葺けます。

〔小田島〕 昔からの考へ方で天然スレートはどうしても一尺勾配ぐらいないと面白くないという風に考へて居るようですが……

〔志垣〕 天然スレートだから急勾配にしないでちやならんといふ理由はありませんが……矢張り外觀美を望まれるからでないでしょうか。雨漏り

の点から申しますと天然スレートは三枚重になつて居る上に、一番奥の重ねで日本瓦以上の重ね掛けをいたしますので、四寸勾配位でも大丈夫なのですが……

〔小田島〕 天然スレートは屋根以外に壁などに用ひたら面白いと思いますがどうでしょう。

〔志垣〕 産地に近い東北地方では外壁や腰張りなどに盛んに用ひて居ります。先頃あちらを旅行中に土蔵の外壁に用ひてあるのを見て大變面白いと思いました。スレートを壁に張ればモルタル壁に見るような龜裂や裏に雨水が廻つて木部を腐らせるような事もありますから効果的だと思います。今日まで此方面の宣傳が足りなかつた嫌いがありますので、今後此方面にも大いにお奨めしたいと存じます。

尙天然スレートを壁などに用いますと屋根に用いる場合程重ね掛ける必要がありませんので、材料が軽減され非常に安く上ります。また此原石をタイルに加工したら面白いと思つて考究して居ります。

〔小田島〕 天然スレートを壁に用ふる場合下地さへしつかりして置けばよろしいのですね？

〔志垣〕 そうですね……一坪の重量が僅々二十四五貫ですからむやみに丈夫なものもありませんが、釘がよくキク程度の下地が望ましい。そして銅釘を使つて置けば萬代ものです。

〔小田島〕 スレートを壁の中に張つたらどうでしょう？

〔志垣〕 ラスの代りに張瓦にしても面白いでしょうね。

〔小田島〕 どうでしょう、山本さん、屋根のスレート又は瓦の代りにタイルで葺くということ即ち薄いタイルを考えられませんか？

〔山本〕 そうですね。前にそういうことをやつた事もあります、相當高くつきますからね。

〔小田島〕 フローリングの方のお話をお伺いいたします。進駐軍の方でさかんに使つて居りま

すが、乾燥が不十分なせいか非常にスキが出て、それをまた向うではとても嫌うのですね。なつとらんじやないかといつて我々叱られて居りますがあれはやはり乾燥不十分のためなんですか？

〔若林〕 私どもは普通のフローリングでなしに他の方をやつて居りますが、結局乾燥不十分のためと、さねはぎのところがうまくついていないのじやないかと思います。加工をもうすこしくしたらこの欠点を補えると思います。最近加工の仕上げは非常にますいので、十分乾燥した材料を使えばその欠点を補えると思います。

〔小田島〕 最近はそろそろ本建築らしいものも出来て來ましたが、そういう方面の使用はどうですか？

〔若林〕 どちらかと申しますと、現在は從來戦争で破壊されたところを修繕する程度でございまして、新たに建築するという事は少いと思います。家具などに使います用材でも從來は自然乾燥で一年ぐらひは乾燥して居りましたが、最近はいり出して三ヶ月位のものをもつてきて使つて居りますので自然狂いも多いわけでございます。またよいものは殆んどノルウエーあたりへ輸出するので、材料を吟味して使うということができないということが原因になつて居るのじやないかと思ひます。

〔小田島〕 材料は相當に豊富にあるのですか？

〔若林〕 いまも申上げましたように、第一に輸出でその残りを内地用に使うというので十分には、やはり入りません。

〔小田島〕 一應皆さんの御意見を伺いましたので、あとはフリー・トーキングということにいたしまして、何かいい残されたことがございましたら御遠慮なく御發表を願ひたいと思ひます。

〔田中〕 關係會社でございしますが、本日は列席して居りませんので私から申し上げますが、名古屋に日東石膏というのがございまして、最近新しく研究しまして日東プラスター、日東プラスター

ボードという新製品を發賣して居りますので、これにつきちよつと簡単に本席で説明してくれというのでさせていただきます。

日東プラスターというのは焼石膏を主原料としてこれに増強劑、硬化、弛緩、調節劑などを調合した化學的壁材料であり、これの特性は直ちに水を加えて使用できる、水に混ぜてねれば自己の化學的作用によつて上ぬりは約二時間、下ぬりは水と、砂と、少量のスサを混ぜてねつてわすか三時間で硬化をはじめるので、作業開始より仕上りまで二、三日で十分であるので、作業日数が十分の一に短縮できる。その他いろいろとありますが、見本も持つて参りましたのであとで御覽下さいよう、説明書もお廻しいたします。

〔松井〕 新興材料につきまして、ちよつと御説明申し上げます。これは戦争前から研究されて居つたのでありますが、大量生産工業化するまでに至つていなかつたものを、終戦後鐵の錆を利用して凝結する力を加えて一つのスレートにする、瓦にするということを研究して製造に着手したのでありますが、御承知の通り石炭が少しも要らず、電力においてセメントで百八十キロ要するに對しラスメントで百キロでできるという特徴があります。また鐵粉の原料はいわば屑鐵、鐵の切屑が主材で、終戦後鐵工所などでごんごんきり粉、ある

いはドライ粉として處分に困つていましたものを集めまして、ミルで粉碎してやるのでありましてしかもセメントより安く、セメントの三倍の強度があるというので非常に有力視されて居るのであります。値段はセメントの約半分でございます。

〔小田島〕 終戦後四年になりますが何か前には無かつた様な新興材料の御話はありますか？

〔田中〕 私どもの方で新型衛生陶器を考えて居ります。とくに戦後の住宅向きとして便所は建物の小さい關係から大小兼用の便器を考えて居ります。ちよつと感じは列車の便所のようなもので東京では水洗式で相當大小兼用で使つて居りますが、これを一般住宅向きにもおすすめしたいと思つて居ります。

〔渡邊〕 屋根材の方で何か他にありませんか？もつと軽い、緩勾配でもふける様なものなど。

〔古川〕 輕さから申しますと、やはり波形スレートが一番よいのじやないかと思ひますね。

〔松井〕 勾配の点では厚形ですね。水きりが二段構えでございますので三寸くらいの勾配はもつでしょう。

〔田中〕 さつき申上げました附屬器具をやり始めました主な理由は、衛生陶器と附屬器具は切つても切れない關係にありまして、衛生陶器がよくても附屬器具が悪いと、セツトとして完全なものにならないので、これでは不便だというのでやり始めましたもので、いすれ見本なども御覽願いたいと思ひます。

〔小田島〕 では長時間にわたりまして、いろいろと有益なお話を承りまして、有難うございました。(完)

日 東 プ ラ ス タ ー (石膏性)

日東プラスター・ボード (耐火
ボード)

日東石膏株式會社

名古屋市 中川區 小碓町20番

電話築地⑥1457, 1360, 1184, 2471.

前號 (第三號) に掲載の裝飾界のニュー・フエースの記事中に紹介致しましたエバーライトは、目下、西成區のM株式會社にて製作中であります。

アスファルト防水工事のあり方

大 西 幸 七

戦時中總てが拙速主義一時の間に合せ的に取扱はれ終戦後も原資材の不足不自由深刻のため、各建材は規格は勿論質的にも低下し、且つ品拂底として充分なる選擇困難である上に、各職方も此のインフレの御時世止む無事とは言へ只管収入の多からむことのみに没頭して戦前の如く自己の技倆を誇る念を失ひ、現場指導監督者亦其作業の急所を知るの経験淺く、隨て技術の眞髓發揮に欠る處あるやの感深く、斯くては復興建設の將來に憂慮される所以であります。そこで私のたずさわるアスファルト防水工事に就て体験を述べ、現場指導監督の御参考になるを得ば幸ひと思ひます。

凡そ何事にも大なり小なり肝處と言ふか急所と言ふものがある如く、アスファルト防水工事にも多くの急所があるので、以下アスファルト防水工事（防水工事と略稱）の施工法と共に其の急所を述べませう。

防水工事の全般的急所を一口に言えば、何枚か貼るルーフィングなりフェルトの各層がアスファルト熱液（以下アスファルトと略稱）に依つて完全に密着して一枚となり、併も下地に落ち付いてゐることであり之れを達成するには、

- (1) 下地セメントモルタルの平滑に塗装されること。
- (2) 出角は丸く入角は傾斜に塗装されること。
- (3) 貼付するアスファルトの加熱度の加減。
- (4) アスファルトの塗布平均にしてルーフィング・フェルト等のアスファルトと密着せしめること。

其他水切り水仕舞の設備保護層の施工等があり

ます。

施工の順序

防水層は必要度に應じ（木造の場合コンクリートの場合）ルーフィング・フェルトの混用を2枚3枚、4枚と色々組合せるが、少ないから故障がある、多いから完全だと言ふ譯でなく、急所の全き施工を得ば回数少なくとも故障を招くものでなく枚数の多いことは耐久度を増す意味以外にはありません。

先ず下地を清掃して第一層を水下より水上へ繼手を重ねかけ、普通 6—10 廻としてアスファルト熱液にて貼り進み、第二層も亦同様水下より貼り始めるのであるが、此の場合ルーフィングの幅其のまゝを貼ると繼手が第一層と同じ場所に重る、之は避けねばならぬ（設計仕様書に繼手乱れにとあるは此處の注意であります）から、第二層の貼り始め丈はルーフィングの巾を半切にして貼り次より幅をそのまゝ貼り、第3層は始めから其のまゝ貼つても繼手は乱れとなります。

平を貼る場合

施工者の一人甲がアスファルトの流し刷毛にて擴げつゝ塗布後退すると、乙が腰を落し巻であるルーフィングを押し付けつゝ遅れぬように且つ兩足でルーフィングの兩端（繼手）をコスリつゝ進む、或る程度進行した時甲はルーフィングの耳（兩端）にハミ出たアスファルト液の冷却せぬ間に刷毛で繼手を押へ目塗りをすると共に塗り擴げる、之の作業を繰返し所定の枚数を貼り終れば最後にアスファルト液を塗布仕上とするのであります。

ルーフィングの耳に出たアスファルト液を塗り

擴げることは、繼手の目塗りとなる一方、アスファルトを其のまゝにして冷却すると、其の部分丈高くなり次の層を貼つた場合稍もすると袋になる憂をなくするが爲であります。

甲がアスファルトを平均に塗布後退する、乙が押し進む速度の加減が一致せぬと肌ばなれ浮を生ずるから熟練工の施工を必要とします。

バラベツト等立上りの施工

水下から繼手乱れに貼る事は言ふ迄ありませんが、理想的貼方としては平30糎位の所から立上り上端迄連続の一枚物を貼り、併も平30糎位の處で平と交差するよう交互に即ち立て、第一層を貼れば平第一層を、立第二層を貼れば平第二層をと平立交互に貼るべきで、平と立上りとの入角下地は傾斜面に、出角は丸味に塗装を忘れては防水故障の最大原因となる釣り浮きを來すから充分に注意して密着せしめねばなりません。排水溝(樋)に連続してバラベツトの在る場合、しかも樋幅の夾み程此点に留意を要する。

貼り方としては低い立上の場合下地及ルーフキングにアスファルトを塗布して貼り付けるが、比較的高い場合は杓流しと言ふ貼方をする、即ち巻いたルーフキングを下地に押し當て其の間に杓でアスファルト液を流し込みつゝ押し付け貼り上るし、施工者は平立の連絡部に釣り浮を生ぜぬよう充分落ち付け繼手及全面をよく撫で、耳に流れ出たアスファルトは直ちに塗り延げることを怠つてはならぬ。立上り上端部にあらかじめ水切を設置する。木造の場合はバラベツト天端まで防水を貼り天端は鐵板で包むこと、木造バラベツト仕上モルタル塗りの下地にラス等を張るため、折角出來た防水層に雨漏の原因を作る釘を打つ者があるが之れは絶体に禁物で、ラスを張る場合にはフェルト6糎角位に切り、之に結束用の鐵線を通してトンボを作りアスファルト液で所要の点に貼り付け、ラスを結束すればよろしい。落口は防水層の回数が多くなるから出來ただけでおかぬと高くなつて水排けをさまたげます。

地下防水の場合

下地セメントモルタルの平滑なる塗装出入角の塗方等は、屋上防水及パラベツト防水施工で述べた通りであるが、壁地の荷重を受ける關係上下地の塗方の重大な關係があります。

貼り方に就ては前述の場合と同様であるが平と壁と各層交互に貼る。即ち第一層を平より壁地15糎位立ち上げて、壁地よりは第一層を平へ15糎位かけて貼る。各層を斯く交互に貼ることに依つて最も危険なる場所が倍の回数となり抵抗力の強い層と形成する。地下防水施工の最大の急所は此の部分の強力なることである。床コンクリートは勿論壁の煉瓦とかコンクリートの全加重が此の部分にかゝるから、釣り浮き等があつては破傷し漏水の原因となるのである。繼手乱れは勿論壁地は杓流しとし耳にハミ出たアスファルトは直ちに塗り延げると共に、全面充コスリ肌ばなれなきよう密着せしめることに留意せねばならぬ。

余談であるが、戦前防水施工の現場では棒を以て所々をタ、キ、肌ばなれ浮かないか出入角に釣り袋はないかと嚴重に監督し、吾々も亦入角等は踏んで見る等の注意を拂ひ、繼手は工員と共にコストつたものであります。昨冬大阪江商ビル屋上主として内樋(排水溝)及バラベツト防水の修理施工に於て現場工事主任は、防水工事の急所を熟知されて居り上述のあらゆる急所に注意を拂ひ指揮指導されて、久しぶりで快心の施工の出來たことを喜んで居る次第であります。吾々から防水下地は斯く塗つてほしい、出入角は斯ように水切はどうにと希望しても、雨さえ漏れねばよい水さえ止ればよいのだ贅澤と言ふとお叱りを頂くことがある。防水層を施工しただけで置くものなら下地の少々悪い位は雨漏の原因とならぬが、保護層或は押へ施工迄に傷の付き易く保護層施工の結果、悪い下地は故障の原因たる破傷を招くから、斯る憂を避け防水施工の完全達成を念するため希望するのであります。

防水工事に一度失敗された経験ある技術者、現

場員は吾々より申出る迄もなく、下地の塗方に保護層に水仕舞にと各急所に萬全の注意を拂われて居ります。斯くしてこそ防水は完全であります。

保護層（防水押へ施工）

以上を以て防水施工の説明は一通り終りますが、防水層は施工の全き丈で完成したとは言ひ難く、保護層押への萬全なる施工を待つて始めて完成と言ひ得るのであります。

保護層（押へ）にはコンクリート、シダー、モルタル、煉瓦積み等ありますが、何れの場合施工にも防水層を損傷せぬ注意と、平押へは壁立上りより先に施工すること、壁立煉瓦積みの場合は尙更であります。

壁煉瓦積みの場合、工員は煉瓦の外面を揃えることに意を拂ふ爲、防水面と煉瓦の間に空隙を生じ其所に不注意にも煉瓦の研り屑等を研り込むことがあるが、斯くては防水層は外部より水壓に押され其の空間だけ膨れ、其の上煉瓦研り屑で損傷する。又糺手がハズれる等の故障を起し水漏の原因を招くから、煉瓦外面の不揃ひは仕上モルタルにて修正すると、煉瓦は防水層にスリ付けて間隙をつくらぬように積み、研り屑等雜物の混入は絶体に注意せねばなりません。

地下室に於て湧水は外部か内部に井戸を掘つて防水面以下に水位を下げ、防水押へコンクリートの硬化する迄繼續する事は言ふまでもありません。又湧水には移動性と停滯性とあり、移動性は水量の割合に水壓は少なく、停滯性の地下水は水量少なくとも意外の水壓があるから、移動性が停滯性が判斷して押へを施工せぬと防水層諸共床を持ち上げる事が往々あります。

材 料 規 格

戦前はルーフィングは $\frac{1}{2}$ 號より、3號フェルトは1號より4號と其他にコットン、ヘツシヤンのメツシユ麻糸を以てするキンマレヤ、タイト銅線と綿糸で織つたカツパーメツシユ等各種の骨材があつたが、戦時中ルーフィングは6坪4合巻22疋、フェルトは12坪8合巻20疋の二種に統制

され、現在も之の規格にて生産されて居り、コットン、ヘツシヤン等は資材の關係上姿を見ることは困難であります。

貼付用アスファルトの規格、加熱度使用量とか骨材の配合とかまだまだ述ぶべき事柄はありますが、次の機会に譲ります。要するに防水工事は熟練工員を擁する良心的施工を責任施工する信用ある業者に委託することが最も安全であります。

尙下にルーフィング、フェルト、アスファルトの規格及現行 $\textcircled{R}$ 価格をかゝげ、之の稿を終りたいと思います。

現 行 $\textcircled{R}$ 價 格

22疋ルーフィング・6坪4合巻一卷1109圓

20疋フェルト・12坪8合巻一卷1330圓

アスファルトは下記規格であります、生産配給の關係上只今の處では針度規格の選り好みは困難であることを申添へます。

ストレートアスファルト (24.4.1.改定)

針入度	$\textcircled{R}$	加算(3%)	販賣價格
0—10 10—30	24,730圓	741圓	25,471圓
30—60 60—100	23,110圓	693圓	23,803圓
100—200	23,870圓	716圓	24,586圓

甲ブローンアスファルト

針入度	$\textcircled{R}$	加算(3%)	販賣價格
0—5 5—10	27,820圓	834圓	28,654圓
10—20 20—30 30—40	27,600圓	828圓	28,428圓

乙ブローンアスファルト

針入度	$\textcircled{R}$	加算(3%)	販賣價格
0—5 5—10	27,280圓	818圓	28,098圓
10—20 20—30 30—40	27,060圓	811圓	27,871圓

容器	木樽	疋當	3,175.19 ^円
	特製木樽	〃	3,454.81

以 上

(筆者・共榮瀝青工業株式會社・社長)

厚 型 ス レ ー ト に 就 て

松 井 邦 彦

1. 厚型スレートの沿革

厚型スレート (HIGH PRESSED CEMENT SLATE) は最近に知られた屋根材料の様に思われているが、我國では相當長年月を経て今日に至つたもので、かの先代野澤幸三郎翁が海外より石棉スレート (ASBEST SLATE) 16" 角の輸入により始めて日本石棉盤製造株式會社の手で之の製造を開始したが、この16吋角の屋根は輕薄で日本趣味に合致せない点があつたので之を補ふスレートの研究をされ、古來の日本瓦 (粘土瓦) に匹敵するスレートとして重厚で而も輕量な六甲スレートが今日の厚型スレートの始めで、之が一般に重用されたのは今から三十余年前と記憶する。

其の後淺野スレートで國光スレートとして同様の厚型スレートが製造され相當競争の域に達したが、此の頃關東に於ても高陽スレート、やまとスレート、やよひスレート等が次々に發賣され、厚型スレートの眞價が一般に認識さるゝ様になつた。當時關東に於ける厚型スレートと關西に於ける厚型スレートとは製法に幾分趣きを異にしていたが、各社共製品の名稱の異なる如く夫々の工夫をこらした形狀と模様を作り、更に色彩の優美を誇つて全く自由競争の破乱時代を現出したが、當時は原料としてのセメントは豊富に良質のものを入手出来、色素其の他の副資材も簡單に需められ製作技術も充分に振ふことが出来たから、製品も益々向上して着々今日の厚型スレートの堅實な地歩を築いたのである。

第二次世界大戰の勃發により統制經濟の余波をうけ、石棉スレートの兼業者と厚型スレートの専業者とが全部合同し、新に厚型スレート工業組合を組織し専ら技術の向上を計り、更に製品の規格の統一について努力を重ね、遂に現在の三十六枚盤 (後述日本標準規格参照) となつたのである。厚型スレートが一般に忘れられていたのは、戰時中屋根材料として重要物資に指定され自由販賣を禁止されたのと、終戦後米八軍技術部より日本の季候に適したる屋根材料として遼大なる需要を要請された結果一般に充足出来なかつたためである。

現今は工場數も數倍に増加し生産數量も非常に増大されたから國內全般の需要に充分應じられると思ふ。

完全な屋根材料として厚型スレートの概要を斷片的に紹介して参考となれば幸ひである。

2. 厚型スレートの生産状況

終戦直後のスレート生産數は極度に減少したが追々工場の整備が充實するに従つて逐年増加を示した。

終戦後の年次生産高

年 度	工場數	生産枚數	坪數概算
昭和21年度	18	約4200000枚	約115000坪
昭和22年度	25	〃5400000枚	〃150000坪
昭和23年度	46	〃2160000枚	〃600000坪

昭和24年1月に於ける統計局の調査に依れば

昭和24年1月稼働生産表

地 区 別	工場数	A 稼働能力	B 1月分生産数	坪 数 換 算	A - B %
東 北 地 区	2	108000枚	29160枚	810坪	27
關 東 地 区	29	3117600枚	1231452枚	34207坪	40
東 海 地 区	12	1170000枚	515160枚	14310坪	44
近 畿 地 区	13	1400400枚	637424枚	17684坪	46
中 國 地 区	1	36000枚	3960枚	110坪	1
四 國 地 区	1	72000枚	49433枚	1373坪	68
九 州 地 区	5	270000枚	65592枚	1822坪	24
合 計	63	6174000枚	2532181枚	70316坪	42

厚型スレートの生産は夏季に比し冬期は非常に悪い。即ち現下の電力事情、セメントの硬化、水で作業する爲工員の能率低下等で著しく粗害される。而し乍ら上記の資料に依れば終戦時の月産10000坪内外に比し、最近に於ては悪条件の多い1月に於て7倍の月産約70000坪が生産されている。今後は更に工場数も増加する傾向にあり、生産技術の向上も計つて居るから益々増産され、現在の稼働能力月産17萬坪も近く實現可能と思われる。かくの如く生産状況は旺盛であるが、主要原料としてのセメントの状況如何によつては生産数も左右され、又は品質にも影響があるので注意を要する。

近畿地区主として大阪方面に於ては現在月産20000坪内外が規格に適合した製品として生産されて居るが、此の外に類似品も相當氾濫して居るから、使用に當つては充分調査して良いメーカーの製品を選ぶことが肝要である。殊に余りに量産にのみ専念したり、不純な混和物を混ぜ合わせた不良なものもあるから、吸水、抗折強度、外觀、切斷面の密度、製造の状態等に注意して信用ある優秀品を選定する必要がある。

3. 厚型スレートの規格

先般工業技術廳で戦後の各種日本標準規格の更新に當り、從來より規格のなかつた厚型スレートの規格についても各方面の協力を得て新に原案が作製された。これは現在の狀勢下に於て厚型スレ

ートには是非共必要な條件で、之を具備せないものは厚型スレートとは云えない。

以下各條項に付いて簡単な説明を加へることにする。

厚型スレート規格

1 章 總 則

1 條 この規格はJES 窯業5101 (セメント) に規定するセメント (以下單にセメントといふ) に硬質細骨材および石棉その他の纖維物質を混和し加壓成型した厚型スレートに適用する。

○使用原料としてはセメント、硬質細骨材及び纖維物質の3種であるがセメントは窯業規格第5101に規定するセメント即ちポルトランドセメント、シリカセメント及び高爐セメントをいひ、雜用セメント或は代用セメントでは同一の經過をたどつて作られても出荷後破損等が多く、又8條及び9條に規定する試験に合格することが困難である。

硬質細骨材とは有機不純物、腐蝕土等を含む川砂、海砂、山砂および砕砂の類をいひ、鋭角を有し篩分試験に於て10目以上50目以下の粒度が平均に混合されたものが最も良い、又炭穀を粉碎して骨材に使用する例も有るが強度その他に變化はない。

纖維物質は石棉其の他の植物質或は礦物質纖維

を包含するが植物性繊維は余り感心せない。

製造に際し水圧又は油圧プレスによつて加壓成型することが必要条件とされているが、更に低圧400~800封度、高圧1500~2500封度を以て加壓成型する方法が最も良いものとされている。

2 章 製 造

2 條 厚型スレートの製造に使用するセメントと硬質細骨材および繊維物質との調 合 比 (重 量 比) は 1 表 に 示 す も の を 標 準 と す る。

一 表	セメント	49%
	硬質細骨材	49%
	繊維物質	2%

3 條 前條に示す原料混和物に適量の水を加えよくかきまぜたモルタルを型詰した後、水圧機をもつて均等に40 kg/cm²以上の壓力を加えて成型する。

4 條 成型後は少くとも満2日間は常時温度5℃以上、湿度70%以上の室内で養生した後脱型し成型後4週間以上を経て出荷する。

5 條 表面着色顔料、硬化促進剤等を用いる場合は製品の質を悪くしたり、また製品に接する鐵物類を腐蝕させるものであつてはならない。

○厚型スレートの品等は原料の品質及調合の良否、成型荷重の程度、成型後の養生の如何に依り著しい差が出来る。

2 條には原料調合の標準を示してある、セメント、砂、重量比1に繊維物質は全量の僅か2%にすぎない。強度上からはこの様に少量では何等効果はないが、成型上の効果を狙つていのである。

事實製作上に多少の困難を伴ふが、最近繊維物質を全く用ひない厚型スレートが多く製造されているが、良質の植物性繊維の入手困難な際に色々の纖維物を混合するより良い結果が生れている。

セメント瓦と異なるところは水圧機による加壓

成型にあるが、この水圧機によつて加壓成型することは2條の調合比に対しても余り變更を加えることが出来ないのも、製品の品質にも自から限度が加えられている。

混合に要する水の量は砂の含水量を含めて大体次表の様なものである。

混合比 (重量比)	w/c
1 : 1 (セメント砂)	40 ~ 43%
1 : 1.5 (")	45 ~ 48%
1 : 2 (")	51 ~ 55%

軟度はフロー値で約130位が適當である。

型詰後の加壓は必ず水圧機によることとし、壓力は多い程強度その他の性質が向上するが40kg/cm²は最少限と見るべきである。

原料に水を加える前にセメント、砂及繊維物質は充分空練して置かねばならない。

4 條に示す養生方法はセメントの硬化には是非必要の條項である。

着色方法としては顔料を原料に混和して着色する方法と化學藥品により浸透着色法等があるが、之等は相當研究の余地がある。

3 章 形状及び重量

6 條 厚型スレートの形状は1圖、2圖および3圖に示す通りとし、表面および裏面の模様および釘穴の位置は限定しない。

ただし釘穴の数は2ヶ以上とする。

寸法、寸法の公差および重量は2表に示す通りとする。

○現在製造されているものは殆んど6條の形状に合致する1坪36枚葺のものであるから、何れの工場から出荷したのもでも混ぜ葺ることが出来る。

従つて葺増し破損修繕等にも頗る便利である。

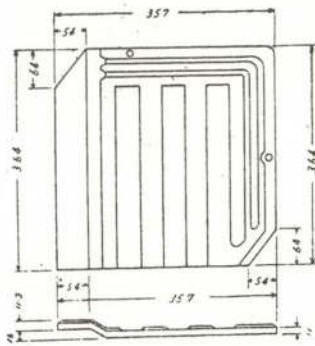
厚さは表面溝模様の薄いところで寸法をとつたものである。

2 表

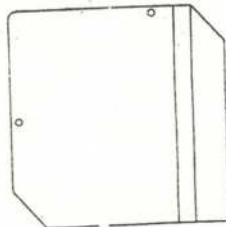
形 状	寸 法 (mm)			寸法公差 (mm)		重量(乾燥状態) (kg)
	長 サ	巾	厚 サ	長サ及巾	厚 サ	
平 瓦	264	357	11	+ 3 - 1	+ 2 - 1	3.0 以上
軒 先 瓦	364	357	11	+ 3 - 1	+ 2 - 1	3.2 以上
袖 瓦	364	282	11	+ 3 - 1	+ 2 - 1	2.6 以上

第 一 圖 平 瓦

表 面

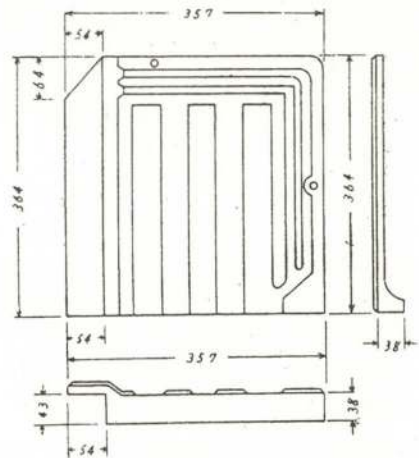


裏 面

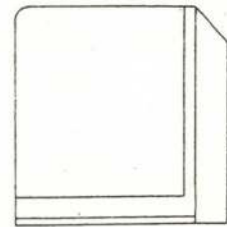


第 二 圖 軒 先 瓦

表 面



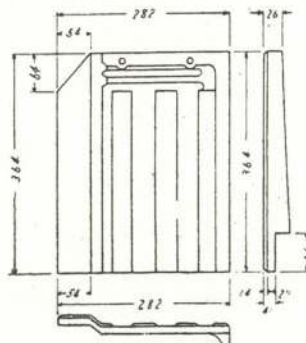
裏 面



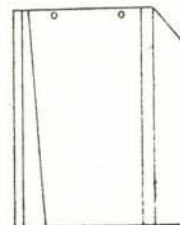
第 三 圖 袖 瓦

(本圖は右袖瓦を示し、左袖瓦は本圖の左右を逆にする)

表 面



裏 面



(未完次號へ續く)



文化石について

中 野 順 次 郎

我々は今迄新築建物の見學や紹介を試みることは多かつたが、建築材料については殆んど取り上げる機会がなかつたやうである。材料ばかりでなく設備とか装飾、家具等についてもなるべく廣い範圍に眼をつけて、それが相當の努力と研究の上に得られた資料であるならば、これを取り上げて廣く紹介する機会があつて欲しいものである。

尤も新しい試み、新しい資料等が果して將來建築の發展に役立つものかどうか、それを定めるのは實際の建築に取扱つてみての後のことになるのではあるが、このやうな努力はどしどしこれを紹介して更に各方面からの検討と工夫を加へて行く必要があると思ふのである。

この意味で、今度西林氏の提供された文化石のことを取り上げてみたい。

先日西林氏が學校の私の室へ來られてこの文化石を數箇みせて貰つたので私もはじめてこの石を識つたのである。

何れも凝灰岩で産地は鳥取とか金澤方面のものであつたが、色調は淡い褐、青、黄、赤、鼠等一通りの種類があり、それに種々の模様の変つた斑紋があつて面白い効果が出てゐるものであつた。

材質の方は密で重いもの、輕くて粗成のもの等一樣でないが、どの種類の石も今迄使用されたことの無い凝灰岩で従つて世間には名稱も知られてゐなかつたものだと思ふ。

西林氏はこの石を外装、内装用の張附石として装飾材に製造したいといふことで相當廣く各地から探した結果得られたものだそうである。

價額について西林氏のねらいは實用的な内外装用テラゾーと同程度にして余り建築費を高めないで装飾効果のあるものといふところにあるが、この見當は外れてゐないと思ふ。

擬私がこの文化石をみての意見であるが、確かに今迄使用されてゐた大谷石、龍山石等に比べると遙かに多種類で變化があるから装飾用として使用出来る場所も廣いと思はれる。

それから當分の事情からみて大理石、花崗岩等の如く高級の装飾石材を使用することは無理であるし、そうかといつてテラゾーではどこか人工的の臭味があつてどうも品位に缺ける所があるのでこの文化石ならば自然石の味合いと落ち着いた装飾効果及び價額の高くない点が有利だと思ふ。

模様や色合からトラバーチンに似てゐるもの、或は地味な大理石風のものもあつて、これならば内外装用石材として好ましい材料とみてよいであろう。併し凝灰岩のことであるから外装の場合粗質のものは風化について注意する必要がある。

従つて内装用に重点を置いて工夫すれば現下の装飾石材として適當であり、その意味で名稱の『文化石』も用途にふさはしいと云へるのである。

(筆者・都島工業高等學校教頭)



箱崎八幡宮 の鳥居に就て

薄 與 莊

元官幣大社箱崎宮は神功皇后や香椎宮と共に歴史に著名で應神天皇、神功皇后、玉依姫を奉祀し遠く寛字三年の造營と傳へられる。又斯の有名な敵國降伏の額は第六十代醍醐天皇の染筆で神威神徳高く、今次大戦迄は一般の崇敬特に深く社頭常に雑踏を極めてゐた。又一面一朝有事の際神鳩が増減するとか、苑内庭石の出沒等奇端現出する等の傳説もありて一層尊神の念を深めてゐた。東公園、千代の松原、多々良の濱と共に福岡の一名所として來福した人々は一度は此社に杖を曳き社前に額したのである。鳥居を一直線に海濱に向ふ沿道は夏の遠淺の海水浴と共に四季殷賑を極めてゐた。戦後は國寶の扁額も取外され、八幡宮の使と傳へられた數百の鳩公も今は何處へか姿さえ見られず、只松籟を靡かす濱風の音のみ、社前寂として僅かに守る社務所の佗びしき神職の白衣の姿を見るのみ、變轉極りなき世相とは云へ吾人としては實に轉感慨無量のものがある。さもあれ此社の鳥居は誠に類の少いものとして多くの人々に興味を持たれてゐる。茲に編集部から地方色投稿の希望に答へ旁々何かの参考にもならばと考へ、寡聞ながら鳥居物語の一端を紹介する。

箱崎八幡宮の海岸にある第四番大鳥居は鐵筋コンクリート造で、昭和六年に當時の縣會議長林田春次郎氏の奉納に係るもので、當時の関係者とし

て自分が設計監督を委屬されたので、第一鳥居を實測し其五倍大に擴大したものである。高さ五十五尺、柱の根元は直徑十三尺あり、額の大きさは六帖敷き大にして『八幡宮』の文字は當時の縣知事松本學氏の揮毫である。此の形式は第一鳥居、第二鳥居、第四鳥居及裏側の箱崎驛前にある鳥居と四基は同一形式である。第三鳥居は古き春日鳥居形である。

茲に第一及第三鳥居に關しての記録を轉載して参考に供する。

箱崎宮誌の一節

第一鳥居、慶長十四年八月、長政は社頭に石鳥居一基を建立した、これが有名な一の鳥居である。見るからに堂々たる風姿を備ふるのみならず神さびて一種云ふべからざる雅味を帶び、誠に天下一品の形式、苟しくも一度これを仰ぎ見る者は技術家と云わす美術家と云わす誰でも賞嘆しないものはないのである。『八幡宮』の額は聖福寺の九阜禪師、銘は

右 豊臣黒田筑前守長政建立

左 干巽慶長第十穴太歳舍巳酉季秋中旬

と刻してあるが、里老の説では天領奉行石田三成の建立で當時長政が修理されたものであると傳へてゐる。

又 鳥居研究 根岸榮隆著 其一節を左に載記

する。

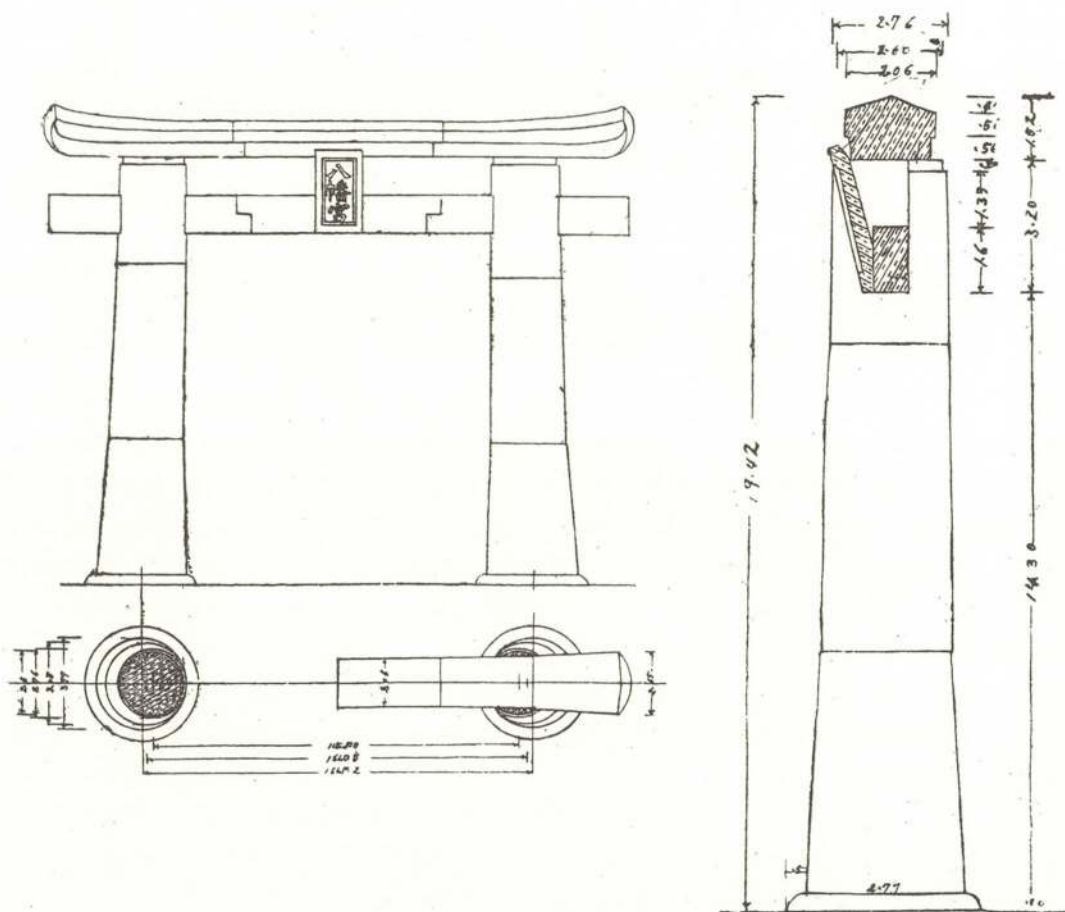
『宮崎八幡宮の鳥居も、之は貞享元年の建造だが、松平とのみは判讀出来て最早他は磨滅して不明。嶋木の鼻の切り様が異なるだけで、殆ど香椎宮舊参道にある古鳥居と同じ趣きを持ち、太宰府天満宮境内第一の鳥居は總ての仕様が日光東照宮のに似て、反りに僅かな点といひ上背を低くしてある点と云ひ古雅掬すべきものがあり』と、此の事は此第一鳥居の記事にあらずして第三鳥居の説明ならむ。惟ふに第三鳥居を除き他の四基は同形

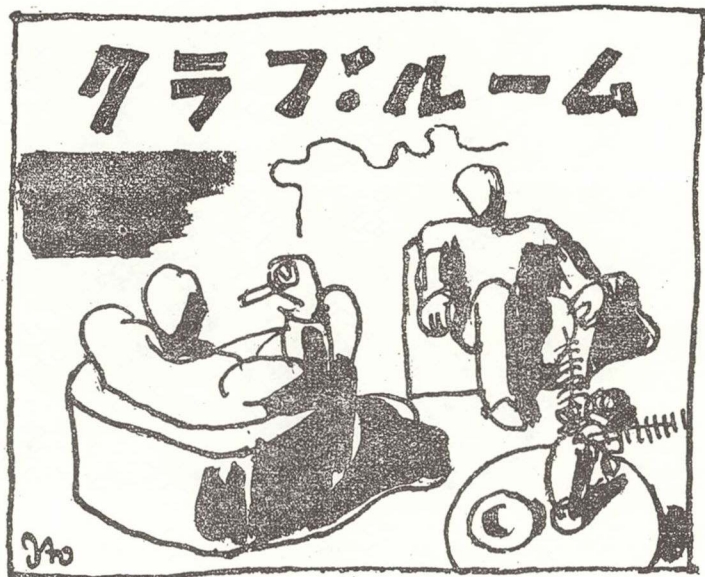
にして此實測圖の如く、第一鳥居が特種の形式を何れに源をなせしか記録なく口説をも聞かず、元官幣大社ありし所より此形式も箱崎鳥居と稱して一種の様式をなすものと考へられる。此れに類したる物は佐賀縣に多く、片嶋にある田島神社のもの最も類似してゐるが、柱の下部肥り少く柱頭に笠石を受ける爲め薄き『キャピタル』即受座石あるのが宮崎のと異なり、尙笠石が非常に薄く更に一層安定感を得るのである。

(筆者・元福岡縣警備課長)

筑前 箱崎八幡宮鳥居

實測縮尺二十五分之一





俘虜生活の感傷

中野吉禰

まへがき

3年間の長い俘虜生活は、私の一生涯にとつて忘れられない思ひ出である。その思ひ出を靜かに追憶することは、私だけに許された思索であるがこれを凝と胸の中に藏つて置くことは、許されない。なぜかなら、3年間のこの感想こそ是非皆様にきいて戴きたいことであるからである。

そ の 一

日本人程よく働く民族はない。私は斯く信じてゐる。働くことを自慢する、ソ連人さへが完全に日本人を見直してゐる。

俘虜生活の3年間、吾々は御粥とスープの惡條件の下で生き抜かんが爲によく働いた。働かざるもの食ふべからずの社會主義の原則の下で、五ヶ年計畫を四ヶ年で遂行しようとする復興計畫にソ連人達はよく頑張つてゐるが、そのソ連人達が驚嘆する程よく日本人は働いて來たのである。

俘虜に與へられる一定の食糧だけを食つていて

は榮養失調になつていかねばならないからである。

ノルマ(一日の作業能率)によつて働かされるソ連では、100%の能率をあげるには相當に骨が折れる。その代りノルマを超遂行して100%以上になると食糧に増配がつくし、又俸給も呉れるのである。

それを欲しさに食はんが爲に働かされて來た。兎に角、俘虜にとつては生きてゆく爲には働かねばならないのがソ連での現實であり、原則なのだ。日本人達がモスコウに行つた當時は誰も働かなかつた。確かに馬鹿らしくて働かなかつたのである。

『今日は運搬車を7回往復しただけだよ』

『俺は5回しかやらなかつたよ』

斯うした會話が勞働を終へて歸つて來る日本人虜舎での自慢話であつた。どうしてもその當時はやけくそで本氣で働く氣になれなかつたのは事實である。

だが多くの日本人達は日に日に衰弱してゆく身体を眺めて、何とかして生きて歸りたい。もう一度日本の土を踏んで死にたいと念願した。だがこの國では死にたくなければノルマ以上に働かねばならないので、日本人達は空腸を耐へ忍んで、生きんが爲に働き出した。私達がモスコウに行つた1946年はソ連も大饑饉の年で、食糧にも不足して居り國民も困つてゐた。食糧は勿論切符制で切符以外では主食の黒パンさへ絶体に入手出来ない時だつたので、俘虜達に與へられる食糧は、ソ連人に比較して決して悪い食糧ではなかつたのであるが、御米を常食としてゐた吾々は全く弱りはてしまつた。殊に麥や粟の穀物の代りにミシヤが薯が毎日配給されるのにはうんざりさせられた

こうした耐乏生活の中で、ドイツ人、ルーマニヤ人達が配給のミシヤが薯を盗んでミシヤが薯一個で一日の營養入をし、十日位入つてゐる

者が澤山いた。食はんがための生きんが爲の余りにも氣の毒な營倉入であるが、日本人の中には、ミじやが薯、が嫌いと見えて、斯うした盗みをしなかつたのは、何より幸なことである。

その代り日本人の中で『サボタージュ』で入ソ當時3人程營倉入したが、氣の毒なのは小隊長で『サボタージュ』の連帶責任罰の營倉入には、小隊長は決して樂な商賣ではないと思つた。

同じ營倉入で氣の毒なのは室長で、毎日一回宛室の清潔検査があり、その時にソ連軍醫が見て不潔（プロホー）だと宣言されるとミさあ大變、その室長が責任者として營倉入をする譯で、しまいには室長になり手がないという笑へないナンセンスが實際にあつたのである。

日本人の中から室がきたなくて、又サボタージュで營倉入することは、國際的生活をしてゐる日本人の代表として恥だといふ叫びがわきあがつて來た。日本人らしい自覺をとりもごし、綺麗好きな日本人に、よく働く日本人になつてくると同時にとらわれの虜舎の中で生活を楽しむ文化運動が併行して盛んになり出し、限られた檻の中での笑ひのある生活の設計が芽をふき出したのである。

この時から吾々に共產主義の宣傳教育が本格的にされ始められたのは、生きんが爲に働かねばならない事、又早く歸りたい爲に共產主義を勉強しなければならない事、之が俘虜生活の悲しい体験の一つであつたのである。

その二

3年間の俘虜生活の大半をミエンジヤミとしての仕事をさせてくれ、又能力に應じて定額の俸給を毎月呉れた。（之は全員で分配した）御蔭で重労働に従事する一般の人達より樂な3年間を送つた私は、技術者として育つて來た事をどんなに幸福に思つたか知れない。

確かに技術者はソ連では大切にしてくれる。私はソ連の労働者から『プロフェツサー』と愛稱されて、俘虜らしくない愉快な仕事が出來た。收容所の近くにあるレンズ工場には、元ドイツのカー



モスコウの労働者街

ルツアイス工場に働いていたドイツ人技術者（勿論強制徴用だらうが）が來てゐたが、住宅を與へられ、毎日自動車で送り迎へをしてゐるのであるが、カールツアイスの素晴らしいドイツレンズの技術を取り入れ様とする爲の待遇ではあらうが、確かにソ連での第一線に立つてゐるのは技術者で、企業經營も技術者の責任でやつてゐる様である。

ソ連の若きインテリゲンチヤ達の憧れの的も教師になること、醫者になること、教師になることそして有名な藝術家になることに一生懸命になつてゐる。

国家も有秀な技術者を養成することに努めてゐる。工場内には實習學校等があつて實地に働き乍ら勉強出來る様にし、有秀な能力のある者は國費で専門學校に行ける様になつてゐる。技術者は待遇はとてもよく、それだからこそ少年達（ピオール）の憧れの的になつてゐる。

建築作業場での實権は、大監督（ボルショイナチーリニツク）が握つてゐる。その下に中監督、小監督が配置されて現場指導を行つてゐるが、その外にノルマ係（労働率計算係）材料係がいる。工事そのものが國家的企業だけに、材料の入手は順調に行はれ、材料がなくて工事を中止することはない。傳票一つで建築材料が入手出來る点は甚だ便利である。而しセメントは現在の日本の様に確かに不足していると見えて大事に取扱はれ、使

用箇所をやかましく制限してゐる。

私が關係した自動車修理工場は、多く囚人を使つて3階建の煉瓦造の本館と鐵骨造の工場とを新築してゐたが、之につかふモルタルはセメントと石炭殻（フルイにかけた細いもの）を混練して使用してゐた。砂はあるにはあるが、山砂が多く粒度は細かくコンクリート打には不向きで余り使用されていない。必要な川砂は市内を貫流するモスコワ河から船で運搬されていた。

セメントが不足している例として、私達の收容所のバラック建の外壁は土塗で、日本の様にササや苔を入れて塗つていなく、赤土と砂とを混ぜてラス下地に塗り付けるだけであるため、雨が降る度毎に壁が落ちて、左官屋さんの仕事が少しも減らないのは好都合だが、之に少しのセメントか石灰を少し混ぜたらとつくづく思つた。壁塗で思ひ出したが、ソ連人やドイツ人は壁土を壁にぶつつけて、後で木ゴテでこすり付けるのであるが、左官ゴテによる日本人の壁塗り速い事とその手の器用さには、負ける事のきらいなドイツ人も齒が立たなかつたのには痛快だつた。煉瓦運搬中モルタル運搬、土運搬にはベルトコンベヤーが多く使用され、一階から二階、二階から三階へベルトコンベヤーを幾台も繋ぎ合せて使つていた。

砂利等は川砂利が少く碎石機で適當な大きさに碎いて使はれてゐる。高層建築になると大クレーンを使用したり、小クレーンを建物の上に据付けて材料運搬をしているのを見かけた。

私の見たモスコワの建築はセメントが少いせいか煉瓦造りが多く、鐵筋コンクリート造は余り見かけなかつたが、地震の少いソ連では煉瓦造で充分だと思つた。煉瓦造で6~7階のものを作つてゐるが、モスコワでは二階以上が、小室に幾つにも區切られたアパートに使用されるし、外壁は耐寒壁として相當の厚みをもたせるので、地震に對しても相當に効果的な構造だと確かに思つた。地價の高い日本の都會にも斯ういつた構造の煉瓦造が出来、煉瓦造の高層建築物が出来様に市街地

建築物法を改正してはどうかと考へるのは、私一人では決してないと思ふ。斯くすることによつて商店街も不足した住宅群も、土地を使用しない高層建築物として立体化して收容出来る譯で、困難な土地問題も解決出来る事はいう迄もない。

ソ連では國家計畫委員會（コズプラン）の下に企業計畫が樹立され、新しい企業が次々に實施されるしくみになつて居り、従つてソ連では失業者はどこに行つても見當らない。それもその筈世界の六分の一の領土を有するのであるから人不足なのは云う迄もない。而し乍ら獨ソ戦で多くの男手を失つたソ連では、男に代つて女の労働者が男に混つて工場に作業場にどしどし働いてゐる姿に感心させられた。私の知つてゐる作業場や工場には囚人や兵隊（工兵）や俘虜を使つてゐるのを見たが、確かに手不足だと感じられた。

而し獨軍に完全に破壊されたスターリングラードが、わずか一年半位で市民達の手で復興してゐる例によつても、ソ連人は一丸となつて、五ヶ年計畫を四ヶ年で遂行しようと一生懸命である。レーニングラードの労働者の激に應じて全ての労働者が増産に、復興に立上つてゐる。

戰勝國ソ連でさへ、斯くの如くであるとき、敗戦日本の現状はごうだらう。吾々技術家は安閑として一日を空費してはゐられない。不燃建築物の出現に、住宅問題の解決に、都市の復興に打つて一丸となつて頑張らねばならない時、私が復員しての直感では、日本の技術者は余りに小さい殻の中で、とじこもり過ぎてゐる様に思へ、又軍閥に利用され酷使され、酷使された技術者は、敗戦による永い冬眠を未だにむさぼり過ぎてゐる様に思へる。之は私のサツカクであり近視眼のせいであれば幸であるが、世界に戦争放棄を宣言した今後の日本の進むべき道は、民主日本の再建に技術者の努力が要望されるとき、今一層の奮起を切望してやまない。技術を指導することはむづかしい。だが指導といふ言葉は現状維持からは決して生れない。指導とは現状打破でなければならないといふ事が結論でなければならない。（未完次號へ）

全國郷土玩具の話 (續)

松島藤太郎

◇ 魔除の虎

富山縣では家屋の新築、又は子女出世の際此虎を祀りて悪魔除、又は産兒の健康長壽を祈る風習あり。

◇ 八幡起上り

石川縣の八幡起上りの盃は、其昔、應仁天皇の御幼体を蜀紅錦の御胞衣に、包み奉れるに擬へて作つたものと言ひ傳へ、まことに繊細優美で、全國起上り中の白眉とされている。古來金澤地方の縁組には、必らずこれを簞笥の抽斗に入れる習慣を生じ、今日でもこれを簞笥に入れ置けば衣類は不知不識のうちに増加すると信ぜられる。又起上りの名あるより、病氣見舞等に之を贈る。

◇ 加賀獅子

加賀の藩祖前田利家公、天正十一年入國の際、獅子舞を演ぜしめてこれを嘉賞したのに始まり爾來男兒出生の場合は、必らず其一個を秘藏して、魔除、又は厄除けの禁厭とする風習を生じ、今日に至る。

◇ 滋賀縣のピンピン馬、ピンピン鯛



此の地方では古くより男兒出生の場合は、ピンピン馬と猥々、女兒出生の時は、ピンピン鯛、猥々を贈り、其兒の痘瘡除の禁厭とする習慣あり。ピンピン

馬も鯛も共に、張子製で箱型臺座の上にのせ、之に車を付け、臺座の裏面に眞鍮の針金を張りて曳けば、此針金が車の軸に差し込んだ腕木に觸れてピンピンとなる仕掛けとなつている。

◇ 二見の身代り蛙

旅行、航海の安全、又は瘰、腫物の平癒とされている。身代り蛙と稱する寸余の土製、青磁色の蛙を授與する。古來無事にかへるの願意より、旅行、航海等の守り本尊として崇敬せられる。又腫物の所を撫で一心に祈願すれば平癒するといはれている。

◇ 奈良法華寺の守犬

當山の開基光明皇后、附近の山土を加持して犬を作りしより始まり、現在も尙當寺の尼僧が製作されていて、大小二種あり、大は七、八分、小は二、三分、何れも土捻りの小犬で赤絲を巻いて首輪としていて、安産、痘瘡除、小兒夜泣き止めの禁厭として、授與されている。

◇ 奈良の張子の鹿

小型の張子に竹の脚をさしたもので赤と群青とあり紙の紅葉の枝に吊して奈良みやげの短冊を添へた誠にゆかしいものである。

◇ 和歌山の豆三番鼠

作者は東京吉原に住み後和歌山に住し明治三十年頃より獨特の豆人形を案出し路で木組をもつて柵を作り柳行李を蓋と底とにして二階を作り下段には材料を入れ上部には製品を並べ、子供を集めて製作賣演をやり乍ら驚いて當時は壓倒的人氣を博していた。

頭は大豆で作り竹のハンドルを廻すと、くると廻轉する様になつている。この外に武者人形馬乗武者、橋辨慶などがある。

◇ 和歌山正住寺の土馬

當市東長町一丁目に正住寺といふお寺がありそこに鬼門さんといふ参り所があつてそこで土馬を一体借りて來ては『クサ喰へクサ喰へ』と唱え乍ら腫物の上を撫で、平癒の上は御禮馬一個を添へて返納する事となつていた。又瓦牛があつてこれと同じ様に用ひられている。

◇ 饅頭喰い

京都伏見に饅頭喰いという人形があり二つに割つた饅頭を半分づゝ両手に持つてゐる子供の立像

で子授けの禁厭に用いられている。或人が『あなたは、お父さんとお母さんとどちらがすき』と尋ねたら、『おちさんこれどちらがうまいの』と持っていた饅頭を二つに割って答へたといふのです。

◇ 大阪神農の虎



虎の玩具は各地には澤山ありますが大阪のこの張子の虎は、よく出来たもの

は他にはあるまい。例年十一月二十二、三日の兩日疫病除けの禁厭として竹に吊して俗稱神農さんから頒布されている。

◇ 住吉の初辰の猫

大阪住吉神社の裏に楠の大樹あつて、其傍らに楠緒社といふ稻荷社あり、毎月初辰の日ごとに此猫を社前に供えて、商賈繁昌を祈りこれを四年間繰り返せば猫の數四十八体となり『始終發達』の意に通ずるに因る。然しその四年間に何か不吉の事あると又初めから始める。この猫は、紋付の着物を着たまねいた形である。

◇ 大阪住吉の喜々猿



三匹の猿が、かさなつて組まれている土で出来た實に、よく出来た玩具である。猿の鳴聲『キキ』と聞ゆるに因り、慶事來るにもじられているのも

面白い。

◇ 岡山縣吉備津神社の犬と鳥

祭神吉備津彦尊出征の折いつも犬と鳥が現はれ道案内したといふ傳説より作られたもので素朴な捻りの小品である。桃太郎が吉備津彦尊であるといふ説もあり同地方に犬飼とか鳥飼の地名、人名もあつて面白いと思ふ。

◇ 相 合 傘

『土佐の高知の播磨屋橋で、坊さん簪買うを見た』と云ふ唄で表されている、竹林寺の若僧純信の夢い戀の傳説を玩具化した張子で相合傘の下に長い帯をだらりとさげた娘と、頬冠りして提灯をさげたその若僧頬冠りと首と提灯とがゆらゆらゆれるのはけだし珍である。



いづれも顔はいかにも朗らかであつて、提灯の簡単な表現又愛すべきものがある。

◇ 大宰府天滿宮の鶯

九州大宰府天滿宮に於ける鶯替は全國此種の神事中最も古き歴史を有し、其創始年代はおよそ今より九百五十年ほども前と傳へられていて、行事は毎年正月七日の夜數千の群集によつて始められ群集は各自去年の古鶯又は社前の露店にて求めた鶯を用意して『鶯替へましよう鶯替へましよう』と叫びながら、互いに之れを交換し合ふ。其時神社よりも變装した神官が金の鶯十二体を携へ、群集に混りて交換するようになっていて偶々此金鶯を替へ當てた者は、最も幸運ありとし、直ちに社務所に持参、社務所は其都度神樂太鼓を打ち鳴らして之れ

を報じ、境内の喚聲宛ら沸くが如しという。

當所の鶯は削り懸け甚だ深く、描彩簡潔、小



は四、五分より大は尺に及ぶもの有り。

この神事が即ち物々交換とか賣買の始めだといわれている。

◇ 長崎の鯨のだんじり

長崎の總社諏訪神社大祭の當時出る山車を模して作られた玩具で子供達はこれを求め、市中を曳廻りて遊ぶグロテスクな玩具である。

◇ 木の葉猿

熊本の木の葉猿といふのがある。土で捻つて作られ朱と、群青のデザインのある實によく出来たものである。

◇ 鶉車

日向の鶉車は高岡法華嶽寺の祭の時に賣られる木で作つた素朴なもので、黒と朱のデザインもよく出来ている。此の鶉車は古く百濟人の歸化して百才になり之を作り初めしよりその形を模して作り出されたものとされていて、これをきて遊べば人命長しとされている。

◇ 鹿兒島の紙雛



頭部は、顔面なく只髪のみで衣服のデザインが色々と工風をこらされて仲々風雅なものである。

× ×

以上全国にわたり大体記し上げたが、まだまだ澤山ある事をつけ加へ一先ず筆を止めます。

(昭和24年1月30日記)

土地譲りたし

所在

大阪市内堺筋日立館(元高島屋)前電車道

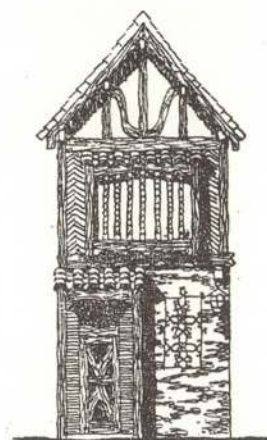
坪数約 150坪

御希望の方は本會にて斡旋いたしますから

事務局長迄御連絡下さい。

ある喫茶店の試案

今西茂雄



最近こういつたクラシックスタイルの茶房をぼつぼつ見かける様になつた。戦前橋筋にこの趣味のものにアルハンブラ・アザア、とかこれに山小舎風を加味したドートン等良心的な仕事を身を感じる店があつた。當時建築界の先端を行つた分離派、インターナショナル

建築に心酔し、クラシックスな画面は書くのもいやと頭からけなしたものでもこういつた趣味の茶房えよく出入りしていた。

實際現在のプランタン級の茶房ではよほど施工法と材料に金をかけないと満足した効果があがらないし常に清潔感を保たなければならない。

その点クラシックススタイルの茶房は古味をおびるほご感じが出てくる。本間乙彦氏のは山小舎とこのスタイルの中間をねらはれたものが多かつた様に思はれる。小川安一郎氏のものまで行かなくともこういつたスタイルは中々味があり設計してゐてもたのしい。ひところは新建築に大いに肩入れしてゐたものだが年のせいかモダンスタイルのものよりこういつたスタイルのものか又はこのスタイルをモダン化したものに心をひかれる様になつた。戦後のものはどうしてもインチキが多い。中でも阪急・長崎屋、梅田日活裏のサロンリオ等が佳作、其他 佳いものがあれば教示された

山 口 便 り

Y 生

建築部の設置が發表されてから中國では廣島より一足先に出來たのが山口縣であつた。

記者は九州支部からの歸途、それは如月九日雪もよいの日であつたが、山口市に今津新建築部長を訪れ敬意を表しお悦びを述べ、種々縣政について御話を伺つた。先づ同部の機構は建築課長に溫厚誠實家の大枝千秋氏を、住宅、營繕課長として積極敏腕家の岩崎文雄氏を配し、此新陣容の下に着々として建築行政に善處されてゐる。住宅と營繕課長は將來機を得て専任課長を設けられるそうである。夫から上記三氏の外に岡村潔氏も加はられ、同市で名高い湯田温泉に案内され、昔懐しい古びた宏壯の門を潜り、奥まつた一室に通されたのも誠に嬉しく感じた事である。直ちに心を慰められたのは眼前の廣い庭であつた。松、楓等の樹木が風致面白く配置され、其間池邊にかゝる橋や燈籠等に点々せる積雪は池水に映じ、一幅の繪の様であつた。苔むす老梅に鶯來り啼く侘びた此の庭園の風光は極めて佳絶、戦後珍らしく此光景に接した記者は戦前の昔に想をいたし、暫し恍惚たるものがあつた。かくて眞珠の湯に一浴、旅の疲れを拂ひ心身洗淨の心地で四方山話を交し、又協會への協力、發展策等に付き懇談した。談偶同縣の事に及ぶや氣焰が上つて、昔から天下に名高い本縣を稍もすると、中國一は廣島で山口は中國の片田舎の様に思はれる人があるから、關西に歸つたら大いに本縣の事を宣傳して呉れよと數々の縣勢に付き説明を拜聴し、自分も其認識の足らなかつた事を痛感されたので、茲に其受賣りを記して忠實に其の御依頼の一端を果したいと思ふ。

毛利元就以來、此地から輩出した傑物は枚舉に

遍なしの光景だが、就中吉田松蔭始め維新の三傑木戸孝允、高杉晋作、久坂玄瑞、伊藤博文、井上馨、山縣有朋等は其代表の人物であり、明治維新の偉業に功績深く、勤王藩であつた事など今日迄の歴史が物語る通りである。

又名所舊跡に富み一度は杖を曳きたい所が數多い曰く、日本三館の一明倫館、日本最古のプール水練池、松下村塾、錦帯橋、長門峽、青海島、八代鶴來地、安德神社、隣接の元春帆樓は日清談判で李鴻章を迎へた所、稻荷町の花魁道中の八文字（中絶中？）さては平家の悲話、壇之浦古戰場等々である。

縣勢は山と海に恵れ、所謂山の幸海の幸は誠に豊富と聞く。又下關、萩、宇部、山口、防府、徳山等重要都市を包容してゐる。秋芳台、大正、景清、中尾等鐘乳洞、石灰若林は何れも天然記念物で、之等高原からは岩國川外六川が内海に注ぎ、農業を賑はしてゐる。

阿武川の上流には長門峽の名勝があり遠く日本海に流れてゐる。海岸の屈曲は良港多く、下關は内海の咽喉を扼し重要な位置を占め、日本海に点々する青海島、角島、内海に在る大島等は著名な島嶼である。

更に産業の大宗を列記すれば、

農 業・米麥、甘藷、大豆、煙草、夏密柑と燒物は萩の特産

牧 畜・牛馬、豚、養雞、卵

林 業・木材、竹材、薪炭、松茸、筍、山葵

鑛 業・石炭、彦島の亞鉛、宇部、沖山、大嶺の有名炭山、山陽無煙

水 産・三方が海、漁業全國第四位、罐詰、加工品、鹽は全國第三位

工 業・藥品、人造絹糸、セメント、肥料、石油等

交 通・山陽本線、山陰線、山口線、美彌線、省營バス、船木一字部一小野田鐵道、宇部山陽電鐵、關門トンネル、舟便等自慢でないがザツト以上と聞かされ、なる程と

時 報 時 論

建築標準用語が2年の内にきまる

文部省は學術用語、技術用語の整理統合をはかるため、科學技術用語制定委員會を設けた。これは2ケ年間に約40萬語の用語を制定しようというのである。この内、工業用語について規格に必要な現場關係の用語は工業標準調査會の指導によつて日本規格協會が擔當して工業標準用語調査會を設けてすることになつてゐる。この調査會は昭和23年3月から既に發足しているが、その内の建築標準用語については、日本建築學會、日本建築士會、日本建築設計監理協會、全國建設業協會とわが日本建築協會がその審議機關設置協議會をつくり進めていくことになつてゐる。

言葉と術語と

アイヌ文學の研究と詩人啄木の盛岡中學の先輩として有名である金田一博士は、専門が言語學であるが言葉と術語の見方には教えられるところが多い。『言語はたえず變遷するものであり』『言語の發達はこの變遷をほかにしてはない』ということ。そして『社會の良識の99%まで用いてゐるものは、たとい、古典語とちがつていても時代語としてこれを正しいと認める』ことを先づ認めて今日の標準語の決定に出發すべきだといわれている。これから色々問題があるのであるが『規格と標準』誌の『言葉と文學の特集號』から、同氏や外の人々からのお話を拾ひながら考えて見る。

名と術語と

手近にある名を想ひ出して見ると、
『ヤマ、カワ、タニ、サワ、イシ、スナ、ヒト、ウマ、イヌ、キ、エダ、クサ、キ……等々々。こ

感じた。大要の數字も聞いたがハツキリしなかつたので略する。兎も角何れも相當量で、全國を通じ最高の位置にある由。

如上の有力縣で之からの復興と増産の強化と諸施設は、建築部として益々多端で大いに張切の状況であつた。又將來協會の中國支部を山口に持つて來たらなどの話も出たが、之は先輩の廣島におこられるから新に山口支部の出來る様、會員増加其他一層の御援助を御願して歸阪した。

縣民各位と共に益々御發展と其御多幸を祈りつゝ。

24・3・1記（文責記者）

廣島支部の大活躍

廣島支部は從來廣島縣下に限られてゐたが今回地域を擴大し中國支部と改稱するため目下藤田支部長以下地域變更會員増加其他の事業につき不斷の活動が続けられてゐる。尙今般支部獨自で建設中國路と題する菊版型の小冊誌を發刊する計畫を樹てられたが其第一號を三月發行し同支部全會員に無料配布された。同誌は三十二頁の小ザツパリした氣のきいたもので内容は設計、論文、法規、資材、公價表、等が掲げられ無駄のない所謂小さく共ワサビと云ふ式の味を遺憾なく發揮されてゐる様である。本部の機關誌發行さえもなかなか容易ならぬ今日よくも此の大事業が支部單獨でなしとげられた事は時局柄全く感嘆を深くすると共に悦びにたへない次第である。支部會員各位も定めし満足される事と思はれる。本企畫は支部長以下の活躍を物語るものであるが、就中田坂幹事が絶大な努力と其熱意の結晶の現れで同氏に對し満腔の敬意を表するものである。希は同誌の將來の祝福と多々益々發展されん事を祈るものである。

吾々は各地の支部も斯様の企畫が實現せられん事を望んで止まぬ次第である。

の内何1つその物の特徴を完全に言い表わしてできている名などは、ありはしない。』それでもお互にも子供にも完全にわかる。しかし語原的に逆のぼると、夫々の意味のあつたものもあろう。太刀（截ち）、カタナ（片刀）、ツクエ（つきすえ）ハサミ（狭みて切る）なども、せいぜいその物の特徴のただ1点を、とらえて名としているに過ぎない。名即ち術語というものは、つまり符ちよう（符號）に過ぎないものであるといえる。

◆ ◆ ◆ 新造語の苦心？

明治このかた、新しい學問がはいつて來ると學者は舊幕時代の漢譯（實は中華時文譯）を通した習わしが脱けないので色々と術語に苦心したものである。『幾何學』など尤なもので一寸内容を知つたものには兎に角、知らない人には幾何の意味だかも判らないであろう。語原を洗えば、測量→はかる→幾何→圖形の數學！では中々凡俗には骨が折れる。が、これは新造語のはなし。交番を巡查駐在所と、鐵道の段々橋を跨線橋と、道路上のガードで通るのも架道橋と、田草取りは除草と、こやしは肥料、これも施肥、堆肥、厩肥、金肥となる。辻は十字路、一軒家は獨立家屋、等々々。

◆ ◆ ◆ 漢字と學術語と

『弘法は竹軸毛尖含墨書字機をえらばず』と學術論文で書かれると一寸首をひねる。ハハア『弘法はフデを擇ばず』だナ。成程定義からいえば結構だがわれわれにも子供にも判らない。これが判れば學者？ 落語家は上肌衣襟締布つまりネクタイですといつた。『可聽周波發振器』は『可聽院周波發振居士』とすれば、立派な戒名になる。（マツサカ氏）轉螺器は『ネヂまわし』、可撓紐線は『電氣のコード』この類は建築にも多いと思われる。硬質粗骨材は『バラス、砂利』硬質細骨材は俗名『スナ』の隠語といわれても致し方もないであろう。こんなことは本を見ればザラにある。

言葉と字音と

戦場で『交代せよ』という電話命令を『後退せよ』と聞いて大失敗をした實例もあつたそうである。同じ音の語を拾つてみる。高度と硬度と光度、動線と銅線、整數と正數、竹材と蓄財、成品と製品、製法と精法、制度と精度、軟度と納戸、剪斷と專斷と梅檀、靜定と制定、長柱と腸虫、複筋と腹筋、單筋と單金、溶解と熔解、天金と轉勤と轉筋、電熱と傳熱、臨海と臨界、穿孔と栓孔、船工と染工、閃光と染紅、先攻と專攻、洗鑛と選鑛、淺黃と淺紅、誘導と遊動、環動半徑と還導半徑、穹窿と丘陵、胸壁と渠壁、間知と檢地等々。デモ區別は附きますよという人は漢字にくわしい人々だけであろう。

◆ ◆ ◆ 民衆の造語

『民衆は天才である。近頃言い出したヤミ値ヤミ市のヤミなども、事その事はいけながヤミと呼び出した名づけ方には、ほとほと感心させられる。もし、これを官僚が言い出したら、さぞかし漢語で闇黒價格とか何とか、むすかしく呼んだものだろうに。……戦争中、給仕人が不足して『セルフサービスを願います』と、はり札を掲げていたとき、これが譯されたら何と譯されるだろう。自己奉仕も變だしと思つていたら、路傍の小さなソバ屋が『お手運びを願います』とやつているのに『これだ』と覺えずはえまされた。……一つの手という語で、手料理、手製、手打ち（ソバ）手織り（木綿）など、簡単に『自家』を表わし、読み手、聴き手、語り手、話し手、追い手、捕り手、手回り、手代、手下、手紙、手荷物、火の手、舞いの手、すもうの手、手が足りない、手がある、手を出す、手を引く、手が込む、手を抜く、など實に驚くべき造語能力である』と金田一氏はいふ。

◆ ◆ ◆
又『同じく路傍でフナを賣つているカミサンが『いきのいゝんですよ、いきのおちたのなど、

ひとつもありません』いわゆる、**鮮度が降る**ことを、こうも、易しく言っていたのである。いきは、生きていることではなくして**鮮度**である。いや**鮮度**は實に、このいきを、もつたいぶつた言い容えに、ほかならないことを知つたのである』(金田一氏)を読んでいくと、言葉と術語とについて、つくづくと考えさせられるのである。

◆ ◆ ◆ 實用と漢字……書くこと

今まで随分と漢字の攻撃ばかりしてきた。わたくしも漢籍に親しみ、漢詩文にも興味をもっている。が、これは趣味の問題である。又便利なことも知っている。が、『科學のための文字ならば、まづ文字、それ自身を科學的にすべきである』(マツサカ・タダノリ氏)と、わたくしもいふたい。

又、カナで書くより漢字の方が速いともいわれる。しかし、『文字を、一々、手で書くような現狀では日本の學問も産業も、世界の水準には、追いつけない。書くことから、打つことに變らなければならない。打つのはタイプライタである。ローマ字のタイプライタを使えば、手で書く3倍の早さを得られる。カナのタイプライタでは5倍の早さになる。漢字のタイプライタは問題外である。あれは手で書く2倍の時間を要するフシギな存在である』(マツサカ氏)これも1つの考えだと思われる。アメリカではタイプが4,000万台、つまり3人に1台の割合で使っていることも考えなくてはならないと思う。

◆ ◆ ◆ 實用と漢字……聞くこと

も一つは耳である。文字よりは言葉、つまり耳^{ハジ}學問である。『太始に、ことば、あり』で口でいふ耳できく言葉の方が、もとであるということを考えなくてはならない。それには、今までに挙げた例の通り、われわれの漢字書では無理だといわねばなるまい。(漢音のような、上平去入とい

つた四聲つまりアクセントがあればよいが、日本語では、耳では區別がつかない。)これも漢字音を排斥したい理由である。

◆ ◆ ◆ 實用と漢字……讀むこと

次は、讀む方である。今までの習慣では、實はローマ字やカナ字ばかりのは、確に讀み難い、というより讀むにヒマ^マどる。讀む——聲を出すときでも默讀でも——耳を通し——理解する段階が要る。それが、漢字ならば一目で判る。少くとも1段階は減るように思われる。従つて早い。こんなことに、なろうと思う。といつて、入門の初學者に撓角だの歪力だの歪硬性だの捩角だの疲勞限度だの塑性だの靱性だの歪硬化だの……とあつたら今の高校卒業生は、意味定義は後廻しとしても第一讀み方からマゴツクだろうと思われる。これでは豫習すらできない。

科學の言葉は、その意味や定義が、むつかしい。内容が中々深いのであつて、これを十分に理解するのが勉強であり學問であるのである。外の^{コロモ}衣で、オドかしたり苦勞させては堂に入る處か入門すら危ぶまれるのである。これで、そんなウワツラのもので低能扱いをされては、それこそタマツタもんじやないともいえる。むづかしい術語を習得することは知識を習得するための精力を、それだけ減らすことになる。術語は知識そのものではないのである。

つまり、目で見える讀み方にも、制限がある筈であるといえる。

◆ ◆ ◆ 漢字のよさは

しかし、漢字はいふものである。

1. 1字か2字で簡単に意味を表わす能力があり、
 2. その類が無数にあるから、擇ぶ範圍が廣く、
 3. 氣品もあり、もつたいもつくので教養の標式となる。(金田一氏)
- というので今までも愛用されたのであろう。そ

れに學術ともなれば、表現を正確に嚴密にとするので勢い名稱に定義的の意味を盛り盡くそうと欲ばつてくる。だから、學問が進むに従い、新しい分野が開かれるに伴い、次ぎから次ぎへと新造のヤカマシイ術語が表われてくるのであろう。

◆ ◆ ◆ これからの術語は

大正初年英和對照工學辭典に井口在屋博士は、成るべく平易で國語に通じ易いこと即ち口で唱え易くて耳で聴き易いことを高調されて、

1. 解し難い漢字は成るべく避けること、
2. 他音と混じ易い單音を避けること、
3. 語路の悪い音を避けること、
4. 日本固有の言葉と普通の俗語を用いること
5. ヨーロッパやアメリカ諸國に普通行われる

術語で日本語に入れても語路のよいものは強いて譯しないこと。

と序文にあつたことが今も忘られない。46クロース判の丸善刊？であつたが、Load は荷物という具合に碎いてあつた。Moment は、彎曲力率、彎曲率、屈曲能率、さては曲能率などと百花燎乱時代に、曲ゲ(?)モーメントとあつたと憶える。それが兵隊語全盛時代には全く忘れて術語は文字通り十字路にさ迷ひ、獨立家屋に鎖ちこもつたのである。ナチス張りの母國語尊重に偏しないでもいゝ、科學は國民のもの、國民の科學知識の水準を高めるためにも、孤高の象牙の塔、いやバベルの塔より脱け出て、愛せられる建築用語を創造しようではないか。

實に『やさしいことを

むすかしく書くのは、やさしいが、むすかしいことを、やさしく書くのは、むすかしい。』とは緒方富雄博士の名言である。(此項終)

◆ ◆ ◆ 建設中國路生る

本會の中國支部から表題の第1集が出た。支部の田坂朝生君の編集。可愛いが確りした雑誌である。廣島 C.I.E 圖書館、丘に建つ田園住宅の設

計圖、山中俠氏簡素・明快、曾根田彰氏コンクリート・ブロック構造の論文、その外建築法規、資材表、公價表(素材、製材、改正職別賃金表)などゴツゴツのない記事の編集振りには敬服される。3月20日の發行だが、中國支部の皆さん、みんなでこの若芽を育てようではありませんか。

因に、『建築と社會』も地方支部編集の特集號の計畫もある由である。

◆ ◆ ◆
理事、兵庫副支部長 岩尾保衛君、昨冬來病臥中のところ、昭和24年3月30日永眠された。君は大正七年以來の會員、色々の役に盡力された外に兵庫支部の生みの親でもあつた。別項にもあるが親交のあつた筆者として感慨無量にたえない。茲に恭しく默禱を捧げて冥福を祈る。

◆ ◆ ◆ 業者と規格

別項にもあるが、規格改正も追々と進んできた。業者は1隅でササヤいていないで、斯界のために善いことは進んで協力しようではありませんか。幸い本會は4界を母体としている。建築界の爲に、建築人の爲に、建築人によつて必要な有益な發言には、本會は何時でも立つ用意がある。

(昭和24.3.31.帝塚山莊主人)

會員相互欄

會員並知己の内で下記の事項につき御関係のある方は本會に於て出來得る限り御斡旋いたしたいと考えます。何卒相互に於て精々御利用あらん事を切にお願いいたします。

1. 土地家屋の賣買、讓渡
1. 事務所、貸家、貸室、借室
1. 就職、採用
1. 建築資材、手持品賣買讓渡
1. 結婚、妻を求める人、嫁入りたき人
御希望條件等詳細を本會事務局長宛御申越し置き下されば當該事項發生次第御連絡申し上げます。

社團法人 日本建築協會

會 務 報 告

理 事 會 (三月定例)

三月十七日 於朝日ビル事務室

議 事

昭和二十四年度収支豫算の件
評議員會開催三月十九日に決定の件
工事請負規程改正委員上京の件
教育委員會催しにつき¥5,000,00支出の件
職員歎願の件(退職手當の件)
職員柳谷久榮退職慰勞金決定の件
燃えない都市展後援の件
以上を協議した

教育委員會

三月四日、三月十一日 於朝日ビル事務室
前後二回開催、講演、講習會について協議實際
すぐ役に立つと云ふモットーで検討した。近く
法隆寺罹災問題と消防に就て講習會開催計畫を
議した。

財務委員會

三月八日 於朝日ビル
本會財政面の逼迫につき各方面より検討を加へ
運営上につき意見交換したが漸次具体案を練る
事を申合せた。

事業委員會

三月十四日 於朝日ビル
一般事業の外に會の運営に援助出來得る様な特
別事業を計畫する意圖の下に意見交換をなした
結果實行可能のものから活動に移る事を申合せ
分科委員、實行委員等を擧げ着々進捗する事と
した。

尙毎年本會創立日を記念する事業も併せて検討
したが本春は取敢ず春季大會を催して之に氏は
計畫立案の事を協議した。

セメント瓦に就ての懇談會

三月十五日 於朝日ビル
大阪近郊の業者の集合を得てセメント瓦規格其
他の問題につき懇談協議した結果工業技術廳に
建議する事を申合せた。

厚型スレートに就て懇談會

三月十六日 於朝日ビル
京阪神附近業者十社集合セメント瓦と同様趣旨
協議した結果之又工業技術廳へ建議した。

大阪會勢委員會

三月催しとして豫告の通り十九日内外木材工業
株式會社及三月二十六日あやめ池ステートフェア
建物の見學會開催共に盛會裡に終了、双方
共誠に有益な會で参加各位の満足を得た。

會 告

現行工事請負規程 分頒

目下改正案を検討中であるか之が完成は數ヶ月
先になるので各方面の要望に應えて現行のもの若
干印刷した、一部 ¥80,00 (送料は實費) で分
頒中精々御利用下さい。

渡 部 圭 吾 著

建築工事と施工技術者 頒布

二月號紹介の本書は本會でも頒布幹旋中である
が相當人氣を博してゐる。尙若干預り残本あり希
望者は賣切れぬ内御申込み下さい。一部 ¥60,00
送料實費の事 詳細二月號参照の事

京都博覽會見學案内

正員 岩尾保衛君の訃



本會理事兼
兵庫支部副支
部長岩尾保衛
君事、舊臘來
病氣加餐中
の處遂に藥石
效無く、昭和
二十四年三月
十日神戸市生
田區楠町同氏
別墅雲濱莊に

於て、六十三才を一期とし逝去され誠に痛惜の極みである。

君は信州松本藩の名門の出で夙に關西商工、名古屋工專等で學ばれた由である。後片岡、茂野村事務所、大林組等勤務、後年岩尾工務店開設、營々汝々今日の成功を修められた立志傳中の一人である。

君又非常な努力家で且熱情、意氣の人で一面談や俳句など趣味擴く更に話術に巧で談論風發交友が多かつた。本會には大正七年頃より入會熱心な愛會者の一人で各種の委員、幹事、評議員、常務、理事に一再ならず選任され、常に克く本會の隆盛に寄與されてゐた又兵庫支部設置には當初から實に献身的努力を拂はれ、同支部今日の基礎を築かれた功勞者である

茲に生前の御功績に對し厚く感謝の意を表し謹而哀悼の誠を捧げ御冥福を祈る次第である。

因に葬儀は三月三十一日午後三時から春雨しとど降る中に同所で盛大に舉行された。本會よりは竹腰會長、錢高副會長、藪中、城口理事、大和記書長外事務局員參列、

兵庫支部岡本、桑田正副支部長、瀧澤、早良、山内石原、廣田氏等の幹部參列、會長、支部長、關西商工、建交會理事長、大丸神戸支店長など弔詞朗讀があり、弔電披露後一般焼香、いと壯嚴裡に告別式が取行われた。

春雨に詠歌の靈車去りにけり
御謠も聞かれずなりぬ花の冷

前號豫告の通り京都支部と共同主催で、首題見學會を下記次第で開催する。京の春色を眺めつつ一日の行樂を共にせんとする人々は、奮而御申込みされたい。

1. 日時 五月三日(日)午前九時半
時間勵行集合、晴雨不論

1. 集合所 京都驛前丸物四階第一會場

1. 見學 第一會場、産業貿易、第二會場、豊國神社境内、教育、科學、纖維、生活文化、農業、兒童、藝能、振興館等及協賛會場、博物館、二條城本丸、先斗町、鴨川おどり

1. 會費 ¥160.00以上全館、鴨川おどり共入場券代

1. 交通費 辨當、自辨の事

1 申込 大阪方面の方は五月一日迄に朝日ビル六階事務所及天神橋建設會館内本會分室に申込み會費と引換へ入場券を受取られたい

京都支部各位は同支部に適宜申込の事

○當日の順序 多彩の見學故集合時間勵行、第一會場十時半退出、第二會場に至り見學同所で中食、午後鴨川おどり觀賞後解散、二條城自由見學とする。午後四時半頃より有志の茶話會を催し當日の見學につき京都支部會員と共に座談會を開く、會場は當日希望者に連絡する。希望の方は豫め申込まれたい。

○入場券は開期中五月末日迄有効の事。

○當日は會員章を必ず着用せられたい。

社團法人 日本建築協會
大阪會勢委員會



告

各支部評議員當選の件

各支部選の評議員は夫々の支部にて正規の手續を経て、下記の通り當選されました。

東海支部	宮村 次郎氏	
京都支部	神野信次郎氏	中村 金三氏
	水野喜一郎氏	平田作太郎氏
兵庫支部	閑林 憲文氏	熊田 繁藏氏
	設樂 貞三氏	瀧澤 眞弓氏
	松村勇太郎氏	吉田 信武氏
廣島支部	生田 五郎氏	高谷 與一氏
	谷川 政夫氏	藤岡 正一氏
	山中 俠氏	
九州支部	薄 與莊氏	田中 勇雄氏
	以	上

昭和二十四年三月三十日

社團法人 日本建築協會

お 願

建築と社會第26輯第1號と第9號が欠本となり困つてゐます(昭和18年1月・9月發行)御譲り下さる方がありましたら本會編集部宛御郵送又は御知らせ願へば參上致します。

所要數は二部宛希望致します。送料の外謝禮は着本の上御届け致します。會員各位御幹旋あらん事を特に御願致します。

社團法人 日本建築協會

本會事務所 朝日ビル6階電話土佐堀④1836番
分 室 市内東區天神橋 大阪建設會館内
電話東(94)0861~6, 1251~5

編 集 後 記

第四號は建築材料を中心に計畫したので、記事の大部分がこれに關するものになった。座談會が大半を占めたのも同じ理由である。この座談會には主として大阪の建築材料界に活躍されてゐる方々にお集り願つたが、夫々専門とされる新材料についての紹介、意見の發表があり、極めて意義深いものであつた。

かつてセメントの發達から鐵筋コンクリート造の様式が生れたやうに、材料の發達は建築の變化に大きな原因を與へることを想ひ、建材界の精進には大きな期待をかけたのである。

この意味から更に建材業者が單に建築設計者からの注文を受ける程度の消極的態度に甘んじてゐては物足りない氣がする。事業は事業として獨自の立場もあらうが、新しい優秀な材料もごしごし研究して貰ひたいと思ふ。新製品から受ける感覺が設計者の意圖を急角度に變へるやうなことがあつてこそ、建築は亦一段の進歩を遂げるに違ひない。敢へて本號を計畫した目的もこゝにあることを諒されたい。

さてこの號が御手許に届く頃には櫻も散るであらうが、やがて亦新緑の好季節に期待して第五號の仕上に取りかゝりたい。

(備考 第五號の發刊豫定は五月十日です)

(N生)

建 築 と 社 會

第 30 輯 第 4 號

實價1部金40圓(送料共)

昭和24年4月20日印刷・昭和24年4月25日發行

編集發行人 戸 川 弘
發 行 所 社團法人 日本建築協會

大阪市北區中ノ島3ノ3朝日ビル

電話 { 土佐堀 ④1836・3631番

{ 北 濱 ②1334~9番

振替口座大阪39975番

大阪市東區北濱三丁目七

印刷人 井 上 聖

大阪市東區北濱三丁目七

印刷所 兒島印刷株式會社

●第三〇集 第四号 掲載広告一覽 (掲載順)

安井建設
やよいスレート
昭和鑿泉
二和産業
関西スレート
池上建築事務所
日東工務店
浦野組
大阪電気商会
大阪暖房商会
大阪城口研究所
桐田商会
斎藤久孝
須賀工業
西原衛生工業所
建材社
三高製作所
楨山工業
三晃商会
保坂工業所
関城化学工業所
内外アスベスト

鼎直一商店
報国工業
明正社
鈴木工務所
大阪パッキング製造所
東建商会
日本断熱工業
金川秀三商店
オリエンタルメタル製造
満点製作所
中川ラス製作所
大阪サッシュ製造所
東洋建鉄
室谷商店
ライトラバー興業
福島商事
千代田工業
ナニワスレート
興亜建材工業所
大佛組
神治屋本店
福田源

ナニワ瓦
吉田芳雄商店
大阪スレート工業
木下謹三商店
村田硝子店
辰己吉商店
佐賀産業
田中組
藤本タイル営業所
三幸商会
三芸社
井上浄夫商店
西林石材工業
日動火災海上
朝日スレート
山本建材社